

# 50周年記念誌

-1967-

大阪市立中央図書館



1043467529

大阪市立萩之茶屋小学校

# 50周年記念誌正誤表

場 所	誤	正
目次 下から3行め	旧職の勤務	旧職員 <sup>○</sup> の勤務
P 2 下から11行め	健やかに	健やかに
P 3 上から8行め	「環境」は...	「環境」は.....
P 3 上から20行め	記念式典 <sup>x</sup> に	記念式典に
P 7 上から4行め	腐朽 <sup>x</sup> させる	腐朽させる
P 7 上から9行め	天皇陛下 <sup>x</sup>	天皇陛下 <sup>○</sup>
P 7 下から11行め	鉄筋 <sup>x</sup> 3連	鉄筋 <sup>○</sup> 3階建
P 7 下から6行め	警察 <sup>x</sup>	警察
P 14 校下区域図の下	至梅田 <sup>x</sup>	至難波
P 21 左写真の上	ください <sup>x</sup>	くださる
P 28 左下2つの写真		上下入れかわり
P 29 右上から7行め	事を完了 <sup>x</sup> する	工事を完了 <sup>○</sup> する
P 29 右上から12行め	暖房装置 <sup>x</sup>	暖房装置
P 30 一番上	旧職員一覧表 <sup>x</sup>	旧職員一覧表

校歌

作詩 大 高 慎 吾  
作曲 山 中 二 郎

目次

(一) 空の色も うつくしく

遠い生駒の 山々が

しずかに窓に うかびます

私たちも あのような

けだかい心に なりましょう

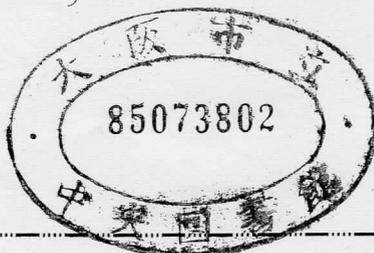
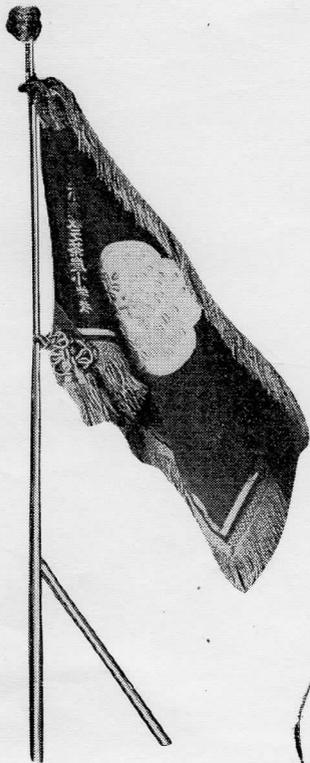
(二) 萩の花が うつくしく

さいた昔の ありさまを

しずかに胸に えがきます

私たちも そのような

ゆたかな心を そだてましょう



———— 目 次 ————

校 歌

お祝いのことば	2
ごあいさつ	5
歴代校長	6
本校の沿革	6
思い出を語る	12
校区図と児童の推移	14
校舎平面図と学級編成表	15
職員一覧表	16
校務分掌	17
年間主要行事	18
楽しい学校生活	20
歴代PTA会長	29
旧職の動静	31
同窓会	34
終わりに	34

## お祝いのことば

### 伝統を輝かしいものに

大阪市長 中 馬 馨

萩の茶屋小学校の皆さん、創立50周年おめでとうございます。ことしは、明治100年、六三制発足20年ということで、特に、わが国の教育の歩みがひとしお深く回顧せられます。

本校開校当時は、校下はまだ西成郡今宮町で、欧州大戦による都市の膨張が非常な勢いで近郊に伸びていった時代でした。

それから50年、戦災をはじめとして、学校や校下は、幾多の厳しい苦難と試練に見舞われたのでありますが、本校は情操教育の徹底、環境の整備、生活指導を教育方針の3本の柱として、常に全校一致、教育の成果高揚と学園発展のためにご協力を賜りました。

ここに私は、心から創立50周年のおよろこびを申し上げますとともに、皆様がたのご尽力とご協力に際し敬意と感謝の意を表わし、本校の伝統をますます輝かしいものに、申し育て上げられますよう、お祈り申し上げます。

### 校風を保ちながら発展

大阪市教育長 柏 原 好 光



萩之茶屋小学校のみなさん、創立50周年おめでとうございます。

一口に50年といいますが、その間、本校の歴史のうえにも、いろいろうれしいことや悲しいことの思い出が、数多くあったことと思います。

りっぱな本校の姿を見ると、そのかげにいかにも多くの人々が苦勞し、学校を育ててこられたことかと、その努力のあとがしのべられます。

おとうさん、おかあさんはじめ地域社会の人々の協力、先生や教育関係者の献身等が積み重なって、今日の萩之茶屋小学校があるのです。

本校が「情操教育の徹底」「学校環境の整備」「生活指導の充実」を終始一貫した教育方針として実行し、年とともに着実な成果をあげ、また、近年は、健全な心はからだづくりからと健康教育にも熱意を傾け、昨年大阪府準1位の表彰を受けられたことを非常にうれしく思います。

萩之茶屋小学校の児童のみなさん、これからいっそう伸び伸びと明るく勉強に励み、健やかに成長してください。

また、ご父兄や校下の方々には、萩之茶屋小学校が良き校風を保ちながら、さらに一段と向上発展するよう、よろしくお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### 校運の隆盛と発展

西成区長 杉 原 一 男

わが国の政治、経済、文化の発展に大きな革命をもたらし、近代日本の基礎を確立したといわれる明治維新も顧みればことしでちょうど100年になるのでありますが、この記念すべき年と時を同じくして、萩之茶屋小学校が創立50周年の輝かしい日を迎えられましたことは、誠に意義深いものがあり、衷心よりお祝い申し上げます。

ご承知のとおり、本校は大正6年6月に大阪府西成郡今宮第3小学校として産声をあげてより今日まで、50年の長い伝統と、尊い歴史を有する由緒深い学校であります。

ひと口に50年と申しますが、この間には古今未曾有の敗戦という悲惨な歴史をはきんで、わが国の社会情勢には幾多の激しい変遷がありました。本校においてもその例外ではなく、校舎の戦災、復旧、増築と、いずれも言語に絶する困難の中を、よくこれらを克服し、年とともに栄え、堅実な歩みを続けて今日のような施設、内容ともに充実したりっばな学校になったということは誠にご同慶に堪えないところであります。

しかしながら、この輝かしい成果のかけには歴代P.T.Aの方々を初め、校下の皆様方の教育への深いご理解とご熱意に加えて、歴代諸先生方のたゆまぬ実践活動の賜ものであったと確信し、心からなる敬意と感謝の念を捧げるものであります。

昔からよく「環境」は人をつくる」と言われておりますが、本校のおかれている環境は必ずしも学校教育に恵まれた条件を備えているとはいえないように思われます。

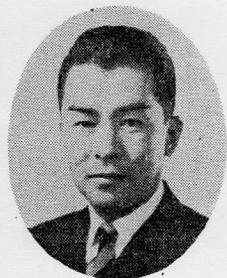
しかしながら、本校におかれては早くから特に「道徳教育」と「健康教育」を車の両輪として児童の教育に専念され、その結果去年11月には健康優良児学校大阪府準1位の栄えある表彰をうけられたのでありまして、これひとえにご関係皆様方の卓越した指導方針と絶大なご努力の賜ものであると心から敬服いたしている次第です。

人造り、国造りが強く提唱されております今日、人造りの基盤は学校教育にあることは申すまでもありません。

本日の佳き日を契機とされまして、今後ともさらに周囲の環境の浄化に力を尽され、また本校の教育指針である「礼儀正しく、清潔で、明るく、たくましい。子どもづくりにまい進されるとともに、本校の校運がますます隆盛発展を遂げられますことを衷心よりお祈りいたしまして私のお祝いのことばといたします。

## 児童の将来の幸福

大阪市議員 辻 昭 二 郎



萩之茶屋小学校の創立50周年の記念すべき日を迎えられ心からお祝い申し上げます。想えば5年前の45周年記念式典に参列の栄を得まして、立派な新講堂で盛大な式典を祝福し喜びを分かち合ったのは、つい最近の事のようにしか考えられなかったのに、早や5カ年が夢と過ぎ、今この50周年の記念日を迎えるに当り、まことに感慨無量のものがあります。

しかしながらこの記念を最も意義づけるものは、昨年度において大阪府健康優良学校準1位という輝かしい荣誉ある表彰を受けられたことであります。さきには立派な講堂の新設により学校環境の充実を見、今回は道徳教育、健康教育の2本の基本目標に重点

をおかれたことは、この特殊な地域環境に最も当を得た価値ある重要施策の研究と実践指導であり、まことに快挙と申さねばなりません。

この物心両面による生活環境の伸展は熱意と愛情、しかも経験豊富な諸先生の各々その分野において最善のご努力を尽されたことによって、その成果の実を挙げられた誠意に対し深甚の敬意と感謝を捧げるしだいでもあります。

「天行は健なり」で万物はその天性に従って、その生育の期間、それぞれの変化の中において生長し最善の美を発揮します。人間もその天性の最善の美を発揮するところに価値があるが、その個性の味を培うには長い生命発展の具体的な期間が必要であります。

すなわち教育でという善き社会環境と善き指導者を得てこそ、心身共に健康に育てられ、生きた人間は生きた人間のまま教育されなくてはならない。幸い萩之茶屋小学校におかれては校長先生を始め諸先生方がこの教育理念に基き、変転極まりない社会状況と悪循環の中にあつて、最も困難な課題に敢然として取りくまれ、生きた人間育成に心血をそそがれ、立派な成果をなされている事は児童は勿論、地域社会に及ぼすその影響は必ず効果を挙げることに思ひまた固く信じているものであります。

更にこの立派な学校における教育実践の蔭には必ずP.T.A校下有志の方々の溢れるばかりの愛情と固い団結による学校づくりと児童の育成に努力をなされていることを痛感いたしております。どうか今後益々ご協力を賜わり「健康で清潔、しかも明るい、たくましく」の校訓の実践に更に微力ではあるが皆様と心を1つにして、本校の教育の伸展と児童の将来の幸福のため努力をいたす決心でございます。

なお、校長先生始め諸先生及P.T.A校下有志の方々の一層のご健康とご発展をお祈り申し上げ 御祝辞といたします。

## 住民のシンボル



萩之茶屋連合団長 市原竹夫

萩之茶屋小学校50周年記念式を挙げるに当たり、お祝の言葉を申し上げますと共に、現在までの苦難の時代と今日の発展までに成長してきたあらましをお話し申し上げます。ごあいさついたします。

本校をふり返り昔日を想えば、校下住民の心の故郷であるにもかかわらず、戦争の傷こんも無惨に、焼け野の中に本校舎一棟がそそり立っていました。それは申しあげるまでもなくわたしは、昭和20年11月28日西成警察署前に居宅を定めたのであります。その時に残っている家は、西成署と市民館、本校と三軒のいたましい姿が心の奥深く残っております。

その当時の面影を知るわたしにとっては、今日のこの完成された学舎に、喜々として勉強にいそむ子どもたちの姿を見ると、感銘もまた一しおであります。

また学校は萩之茶屋住民のシンボルであり、尊敬のまともであります。なんとしても学校をよくするには、学校と校下の有力者のつながりを持つために、13年前に萩之茶屋小学校後援会を結成、現在では会員も144名の多数に達しました。この間に会員各位のなみなみならぬご理解、ご協力を賜りましたことは、今日の学校の雄姿となって表われてまいりました。

これまでの、後援会の会員の皆様のご協力を深く感謝いたしますと共に、今後いよいよのご協力をお願いいたします。50周年記念のお祝いの祝詞といたします。

## 力をあわせてますます発展

後援会長 時枝静夫

創立50周年おめでとうございます。10年ひとむかしということがありますが、そのひとむかしが五つも過ぎているのですから、ずいぶんいろいろなことがありました。きょうのこのよき日を迎えるに当たり水害、戦災をはじめその他あらゆる苦難にも耐えて今日の姿にまで発展するには幾多の人々のご労苦を忘れることができません。

鉄筋校舎は増築され、運動場は整備され、プールはでき、講堂が建ち年を追うにつれ子どもたちの学習の場が広げられ、楽しい学校生活がおくれるということは校下に住むわたしたちにとって非常によろこばしいかぎりでございます。これひとえに市区当局のご厚意は申すにおよばず区選出の議員の方々のご努力、校下有志の心からなるご協力があり、その上先生方の惜しみなき児童へのご熱意にプラスして保護者の方との一致団結の賜物であります。

わたしもかつてはPTAの会長を勤めさせていただきましたが、学校をとりかこむすべての人たちが和をもって楽しく力をあわせることほど美しいものはないと感じました。

きょうのよろこばしい日を記念してさらにさらに発展することを心からお祈りしてやみません。

## 母校の50周年を祝う

同窓会長 日比野正雄



私たちの母校萩之茶屋小学校が、めでたく50周年の誕生を迎えましたことを、心からお喜び申し上げます。

かえりみまするに、私たちが学び、卒業以来の経過に従い少年時代の思い出が、なつかしく目に浮び上がります。

その間、幾多の変遷を経ましたが、特に戦災による復興再建など、今日まで、永い苦難の時代が続きました。

母校がこのときに当たり、校長先生をはじめ諸先生、PTA先輩、および諸関係皆様方の協力一致、努力と熱意により、母校に今日の繁栄をもたらしたことに深甚なる敬意を捧げるとともに、さらに50周年を契機として、永遠の発展と明日への飛躍台となりますことを祈るものであります。

# ごあいさつ



学校長 鈴木 嘉 明

去りまたきたる星霜いくたびか、ここに本年わが萩之茶屋小学校は数えて50年のよき年を迎えました。思えば遠い半世紀の昔、のどかにちょうが舞い、とんぼが群がり飛ぶ今宮村のねぎ畑の中の専売局工場転用建物を校舎として開校した今宮第三小学校時代より、現在まで、移りかわる世相に従い校運の盛衰もまた共にしたのでありますが、一貫して不変のものは、地域住民各位の学校教育に対する誠実そぼくな協力であり、子弟教育の場であると同時に自分たちの心のふるさととしてはぐむ真情であります。もとより当地には定着居住者が少なく流動する人口の波に愛郷心は薄められ、教育的環境には

恵まれないものがありますが、こと学校に関する限り校下をあげて、教育の聖地として、地域浄化のセンターとしてひたむきな後援には誠に深い感激を覚えるのであります。今50周年を迎え昔日と比ぶべきもない充実した本校の現容を仰ぐとき本校教育に黙々として精励した開校以来360有余名の教職員の方々のご労苦、郡市、区役所、校下有志一同、歴代P.T.A各位のご貢献に敬愛と感謝の念を新たにするのであります。本校の輝かしい歴史の現時点に職を奉じたわれわれ職員は更に心をいたし、複雑高度に連化する人間生活に対処できる不動の基礎的な人づくりの道に力の限り尽す覚悟です。今後とも伝統的な学校愛に満ちた地域各位ならびに関係機関各位の暖かいご指導ご支援をお願いして創立50年記念のこととします。



P.T.A会長 巽 章

光輝ある本校創立50周年を迎えるに当たり、この栄えある年にP.T.A会長の任にあることは生涯忘れることのできない喜びです。

学校内の教育設備の拡充、校下の発展、文化向上の場として常に明朗堅実な校風をうちたてその成果を各分野にわたって高揚でき得ることは、ひとえにご当局のご配慮は申すにおよばず、歴代の先生方、P.T.A先輩諸兄、校下の皆様方のおかげです。

人間教育の叫ばれている今日、児童憲章にも「児童はよい環境のなかで育てられる」とあります。このよい環境づくりがわたしたちP.T.A全員のねがいであり、その努力も校下あげてのご尽力なしにはできません。

将来有為な人材を世に輩出し、ゆるぎない校風を築き上げるため、みなさま方のご協力を得まして共に限らない努力を続けたいと思いますので、今後ともご指導ごべんたつの程お願い申し上げます。



50周年記念事業委員長 渡 部 佐 蔵

いよいよ50周年のめでたい式を迎える日がきました。これまでに校下の町団の方々やP.T.Aのみなさんには物心両面にわたり多大の援助をいただきましたことを心からお礼申し上げます。

わたしがP.T.A会長在任中は、常に子どもたちがのびのびと運動できることを考えていました。そのための運動場の整地や造園作業にP.T.A各位には何日間も汗みどろになってご奉仕をいただき、いたんだ体育倉庫の改修をお願いすれば、さっそくご承認をいただき、皆様方のご協力のほどがいまさらながらありがたく思いだされます。

こうした皆様方の子どもへの熱情が昨年度の健康優良学校として表彰される一つのもといともなっていると思います。

きょうの佳き日を記念して、将来につづく学校や子どもたちのために、さらに繁栄と発展をみなさんと共に祈りしのごあいさつといたします。

## 歴 代 学 校 長

平 田 啓 藏	初 代	大正 6 年 6 月 8 日 ~ 大正 7 年 3 月 31 日
安 福 敏 昭	2	大正 7 年 8 月 8 日 ~ 大正 10 年 3 月 31 日
源 島 泰 一	3	大正 10 年 4 月 1 日 ~ 大正 12 年 4 月 5 日
宮 崎 謙 義	4	大正 12 年 4 月 6 日 ~ 大正 13 年 1 月 19 日
長 田 寛 二	5	大正 13 年 2 月 26 日 ~ 大正 14 年 3 月 31 日
平 田 利 胤	6	大正 14 年 4 月 1 日 ~ 昭和 10 年 1 月 4 日
生 駒 東 治	7	昭和 10 年 3 月 4 日 ~ 昭和 11 年 8 月 31 日
正 井 米 三 郎	8	昭和 11 年 8 月 31 日 ~ 昭和 15 年 9 月 30 日
平 岡 卓 馬	9	昭和 15 年 9 月 30 日 ~ 昭和 21 年 4 月 16 日
加 藤 直 一	10	昭和 21 年 4 月 16 日 ~ 昭和 23 年 8 月 31 日
松 下 為 二	11	昭和 23 年 5 月 5 日 ~ 昭和 26 年 4 月 9 日
裏 栄 太 郎	12	昭和 26 年 9 月 1 日 ~ 昭和 35 年 3 月 31 日
加 島 了	13	昭和 35 年 4 月 1 日 ~ 昭和 37 年 3 月 31 日
市 位 暉 一	14	昭和 37 年 4 月 1 日 ~ 昭和 42 年 3 月 31 日
鈴 木 嘉 明	15	昭和 42 年 4 月 1 日 ~

### 本 校 の 沿 革

- 大 6. 6. 15. - 大阪府西成郡今宮第 3 尋常小学校として創立する。  
 (大阪府西成郡今宮町大字今宮705 現在地)
7. 12. 4. 大阪府西成郡今宮第 3 尋常高等小学校と改称する。  
 大正 7 年 6 月学区の分台と通学区の変更、今宮第 2 尋常小学校(現長橋校)学区の内、字四  
 条ヶ辻以东、字曳船以北を分離して本校の学区とする。
10. 3. 今宮第 4 尋常高等小学校(現今宮校)開校により今池菰之茶屋駅間を通ずる道路を馴らして以  
 北を本校の学区となす。
10. 4. 1. 大阪府西成郡今宮第 3 尋常小学校と改称する。
12. 4. 今宮第 5 尋常高等小学校(現橋校)開校により学区の変動を生じ字海道を第 4 校に分割し今宮  
 第 1 小学校(現弘治校)の学区たる西四条 2 丁目、3 丁目長橋通 1、2 丁目出城通 1、2 丁目  
 および南開 1 丁目を学区に併合する。
13. 7. 1. 校舎東部一館を 3 階建鉄筋コンクリート校舎に着手し、14 年 1 月 31 日竣工する。
14. 4. 1. 大阪市編入により校名を大阪市今宮第 3 尋常小学校と改称する。(西成区甲岸町 2 番地)
14. 3. 通学区変更、西成区東田町、東入船町、西入船町、甲岸町、海道町の 1 部、東萩町 639 の 1

より5に至る間および640の1、2、677の2今池町の1部中開町1丁目、四条東1丁目より3丁目、西四条1丁目より3丁目、鶴見橋北通1丁目より3丁目、出城通1丁目より3丁目、長橋通1丁目より3丁目、南開町1丁目より2丁目以上を通学区域とする。

大 15. 9.20.

西棟17教室および北職員室は煙草専売局より譲渡された遺物で採光通風悪く、腐朽させるを以って木造2階建となすべく区会で可決、中島組これを請負い昭和3年3月落成する。

15.11.

告示をもって昭和2年3月限り学区を廃止財産を大阪市に帰属される。

昭 2. 3.29.

今宮第6尋常小学校(現松之宮)増設により、通学区域1部変更、鶴見橋北通1丁目、長橋通1丁目、出城通1丁目、南開町1丁目を通学区域とする。

4. 6. 4.

昭和4年6月天皇陛下大阪市へ行幸、後牧野侍従ご差遣視察さる。

9. 9.

室戸台風により木造2階建校舎傾斜のため補強工事をなす。

15. 2.21.

隣接の宇治川電気株式会社より校地買収、甲岸町1番地1,120.38坪、96,912.87円。昭16.4.1. 大阪市立萩之茶屋国民学校と改称する。

19. 9. 9.

府下泉南郡樽井町および西信達村に学童疎開をなす。

20. 6.15.

戦災のため本館木造2階建講堂全部焼失する。

20. 7.

西成警察署21年8月まで校舎1部使用する。

20.10.

学童疎開解散、全員帰校する。

22. 4. 1.

大阪市立萩之茶屋小学校と改称する。

25. 9. 3.

ジェーン台風により木造平家建給食炊事場倒壊する。

26. 6. 8.

木造平家建(48坪)校舎竣工し、給食炊事室、使丁室、宿直室として使用する(37.1.30まで)

27. 6.15.

創立35周年記念式を挙行する。

10.15.

校歌を制定する。

28. 4.20.

木造平家建(パネル式80坪)4教室竣工する(37年9月講堂建設のため撤去)。

29.10.17.

鉄筋3階建9教室竣工する(現新館東半部)1,194.2万円。

30. 3.22.

鉄筋校舎増築に伴い図書館、理科室、体育倉庫、その他教具の整備を行なう。建設資金より(1,438,786円)

30. 7.25.

運動場整地工事をなす(P T A34万失対人夫賃71万)。

30.12. 8.

鉄筋旧館塗装工事を行なう(25万)

32. 7. 1.

創立40周年記念にプール完成する。

33.10.21.

鉄筋3建6教室および便所完成す(現新館西半部)。

34. 4. 6.

正門外柵工事完了する。

35. 9.18.

旧館1階の2教室を給食調理室とし改装する。

35.12. 9.

特殊校舎増築のため雲梯すべり台など除去する。

昭 36. 2.

流感のため6日より8日まで学校閉鎖する。

36. 4.28.

校舎周辺の屋台車、塵芥、たき火などに関し、警察、消防署、区役所、市教委に陳情する。

5. 9.

清掃局塵芥処理、警察の外柵、警告掲示など陳情に対する処置あり。

8. 3.

地域に暴動発生し府警機動隊を中心に以降1カ月にわたり警備部隊学校に駐屯(3コ大隊)する。

9.16.

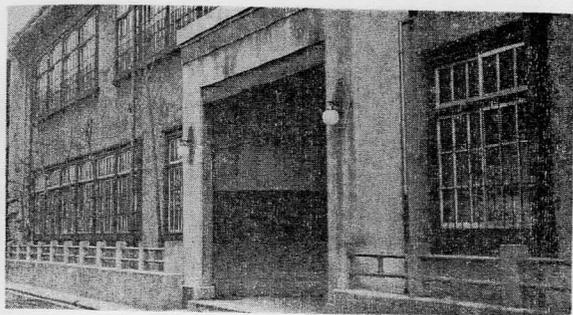
台風18号によりプール横板塀25m、樹木多数倒壊する。

9. 1.

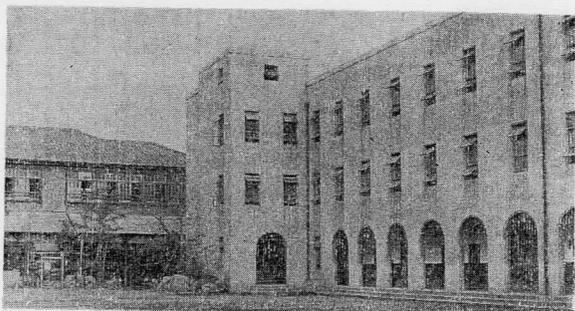
ガス暖房工事完成す(7.24~8.30)

- 10.25. 校舎北側、西側バラックおよび屋台車をPTAで除去する。
- 12.12. ガス暖房を開始する。
- 37. 1.30. 管理室（校長室、職員室、校務員室）の改装完成し移転する。
- 2. 1. 分校あいりん学園を開設する。
- 37. 2. 7. あいりん学園開校式を行なう。
- 37. 4. 5. 皇太子殿下ならびに美智子妃殿下仁徳ご参拝の途次26号線で奉迎する（5、6年児童）。
- 7.14. 東田町73番地に信号灯設置陳情する。
- 9.17. 講堂建築地鎮祭を挙げる。
- 10.18. 交通安全をはかるため集団登校を開始する。
- 38. 2.22. 講堂落成式をかね創立45周年記念式典を行なう。
- 38. 4. 1. 分校あいりん学園は、あいりん小、中学校として独立開校する。
- 6. 8. プール外柵ブロック工事完成する（失対事業による）。
- 6.29. 社会を明るくする運動、子どもを守る運動のパレードに参加する（5、6年鼓笛隊）。
- 39. 2. 旧館教室扉を引戸に改修する。
- 39. 6. プール浄化装置を完成する。
- 10.21. 各教室電灯増設工事完成する。
- 40. 2. 新館1階の1教室を特殊教室に改装完成する。
- 6. 講堂の前に造園工事をPTAが作業奉仕する。
- 8. 旧館2階廊下をモルタル張りとする。
- 10.28. 大阪市道徳教育研修会場となる（10月29日および11月8日の3日間）。
- 12.27. 市教委より250㎡の土の配給をうけ運動場整地作業完成する。
- 41. 1.24. 給食室風防工事ならびに外側の屋根付渡り廊下完成する。
- 4. 旧館3階廊下をモルタル張りとする。
- 旧館廊下側窓枠を改修する。
- 5.29～31. 府警機動隊、学校に待機する。
- 6.21～24. 夜間騒動続き、私服警官200名講堂使用する。
- 41. 7. 7. 健康優良学校実地審査を受ける。
- 11.21. 健康優良学校大阪府準1位の表彰を受ける（全日本健康優良学校児童表彰会）。
- 12. 7. 全市学童音楽会に出場する（器楽）。
- 42. 4.30. 旧館1階2教室を音楽特別教室に改装完成する。
- 42. 5.10. 体育倉庫の改装完成する。
- 42. 6. 3. 警官隊多数講堂に待機する。

本校の沿革写真説明



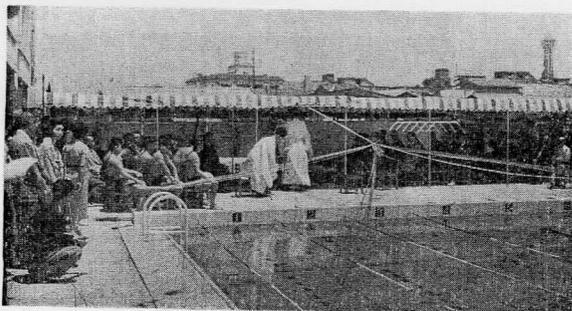
←昭和15年ころの校門



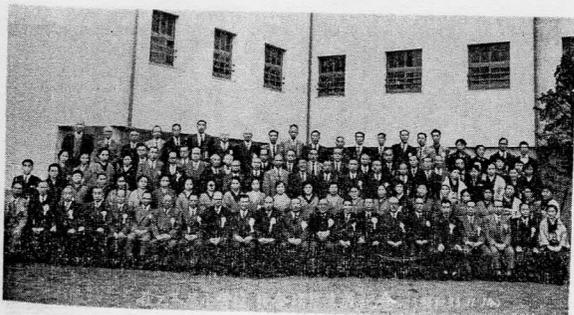
昭和18年ころの校舎→



←昭和19年9月 学童集団疎開 樽井 南泉寺



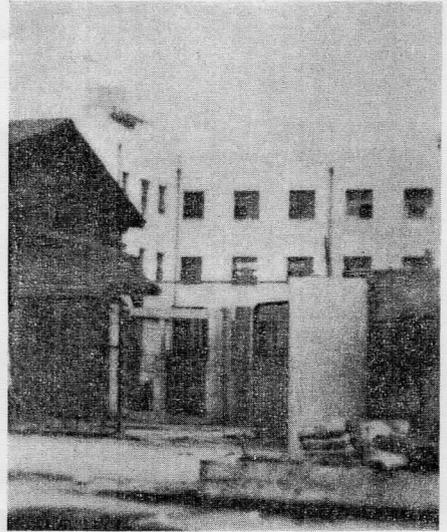
昭和132年7月 プール完成す。→



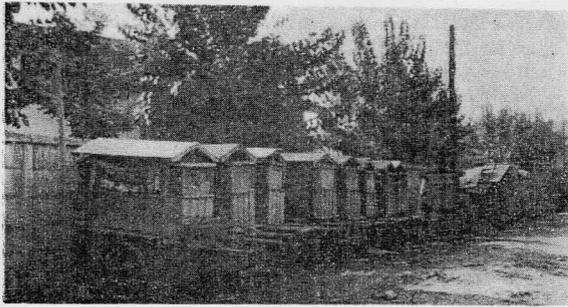
←昭和33年11月 校舎増築落成記念



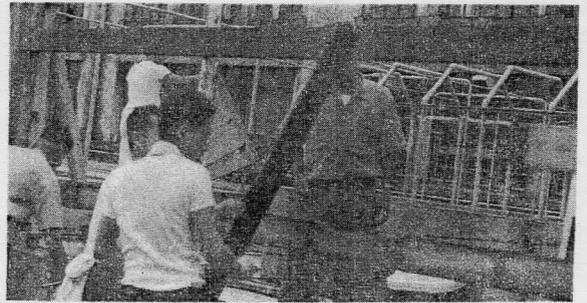
昭和25年9月 ジェーン台風 給食室倒壊



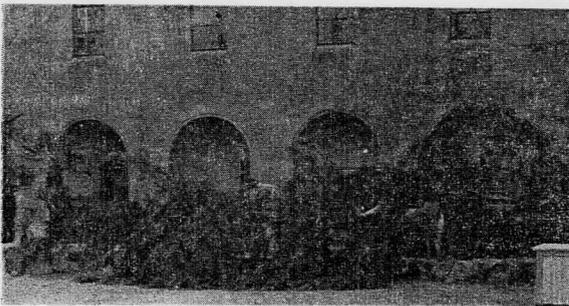
昭和35年ころの校門



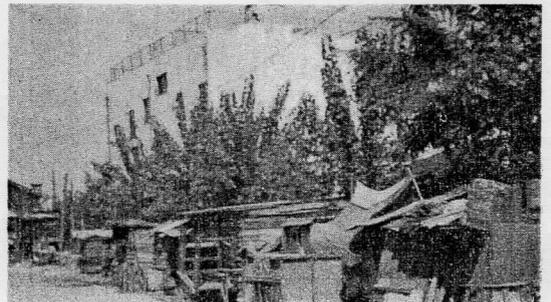
←昭和36年10月



昭和36年9月 台風18号→



←昭和36年9月 台風18号

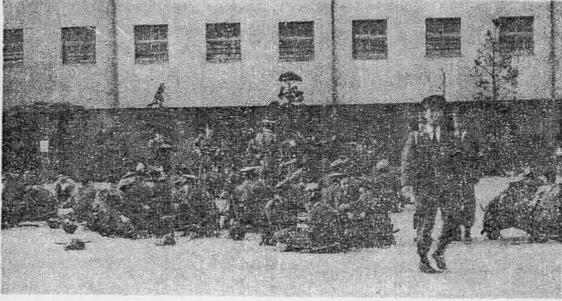


昭和36年4月 校舎西側→

昭和36年 8月→



機動隊待機する



←昭和36年 8月

昭和40年 6月→

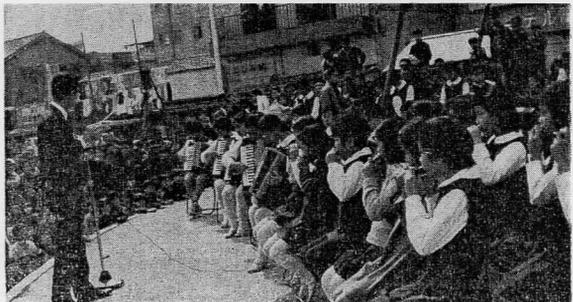


造園奉仕作業



←昭和40年 6月

昭和42年 3月 労務者裸の会へ器楽賛助出演→



## 思い出を語る

### 帳簿づくりがいそがしかった

黒田英先生は、大正11年から昭和19年まで徳谷キクエ先生は昭和11年から現在まで勤務され、本校の教育に尽された。この2先生は、いわば萩之茶屋小学校教育の歴史をその身でになって来られたとも言える。そこで、黒田、徳谷先生に萩之茶屋小学校50周年にあたって、創立以来の思い出、教育方針、子どものようすなどを伺ってみた。

#### 黒田英先生に聞く

##### ・創設当時は

「わたしが本校に勤務したのは、大正11年ですから、あまりよくは覚えておりませんが、なんだかからんとした感じの建物でした。今の北校舎は鉄筋ですが、当時は木造で、煙草専売公社の荷づくり場でした。」



##### ・教壇に立って

「特別にこわいとも感じませんでした。ただどういうわけか、今三、今三と言って、旧市内の子どもから馬鹿にされたような記憶があります。」

南海電車が平地を走っていたので、よく電車で通行人がひかれ、『また、ひかれたぞ!』と言って、授業中でも子どもがよく見に行きました。

わたしが勤めていたころ本校独自の教育方針というようなものはなかったように思います。ただ昭和元年中ごろから、学校の体裁が整い、諸帳簿づくりが忙しかったことを覚えています。」

##### ・子どものようす

「木賃宿から通う子どもが多かったようですが、他校の児童と比べて、目立ったことはありません。子どものふくそうは着物を着て通っていました。べんとうを持ってくる子がほとんどなく、家へ食べに帰る子がほとんどでした。近かったせいもあったんでしょうが、べんとうを作ることを、親がめんどうがったのでしょう。」

乱暴な子どももありました。例えば、授業中、机の上を走ったりする子があって手を焼きました。でも、勉強

のできる子どももあり、当時の帝大へ進んだ子どももありました。」

##### ・町のように

「かんできから出る煙でいっぱいでした。朝夕、戸外でかんできに火を起こし、ごはんをたいていたせいでしょう。こわいという点では近ごろの方が、わたしにとってはこわくてたまりません。年をとったせいもあるでしょうが。町の巡視は一週間に1回はしました。このごろは町もきれいになりましたが、当時はうす暗い露路がとてもたくさんあり、ごみがいたるところにありました。」

##### ・室戸台風について

「朝早く台風が来たせいもあり、子どもには全く被害がなかったと聞いています。学校がかたむいたりして、あとかたづけがたいへんでしたが、あまり記憶がないところを見ると、たいしたことはなかったのではないのでしょうか」

##### ・最も思い出となることは

「昭和4年に侍従御差遣があった時です。そうじやらそのための準備やらで、てんでこまいをしました。来られた時に、みんな体操をしたり、遊戯をしたりしましたが、なんだかあつという間のできごとで、準備が忙しかったことにひきくらべ、すんだ後は力が抜けたような妙な気分になりました。」

もう一つは、今三、今三と他校の児童から理由もなしにあしざまに言われ、むやみに腹が立っていたことぐらいです。」

##### ・職を辞される時

「戦争の被害が激しくなって、子どもが縁故疎開か集団疎開をしなければならなくなった時にやめました。」

わたしのような年よりでは、集団疎開地で、もし子どもに被害があった時、役に立たないと思いましたが、校長からもそう言われてやめました。

集団疎開地へ行く子どもを見送りましたが、わたしの感じでは、あまり子どもが悲しんでいるようにも感じませんでした。

## 戦後先生が食べられなかった

### 徳谷キクエ先生に聞く

#### ・集団疎開は

「昭和19年に泉南郡樽井町及び西鳥取町に集団疎開しました。ほんとに苦しい疎開でした。子どもは自分の身のまわりのことも十分できないし、さびしがるし、かわいそうでした。先生の方も大変です。疎開先と学校とを連絡のため行ったり来たりでした。中でも一番困ったのは、樽井町の子どもとなかなかじめないことでしたね。」



#### ・終戦当時のようすは

「学校の環境整備するのが精一杯でした。3月13日の第1回空襲、6月15日の第2回空襲によって、学校も子どもたちの家も焼きはられ、そのあとしまつや修理におわれていました。特に終戦当時6年生の子どもは疎開から早く引きあげて卒業式をおこなう予定が空襲のため、子どもたちが四散し、どこへ行ったかわからない子もいて、とても卒業式どころではありませんでした。」

#### ・町のようすは

「そうそう、この辺はあちこちでヤミ市があり、なかなかふつうでは手に入らないいもや米、その他の食べものが売られていました。そのためかどうかはわかりませんが、子どもたちは家で何とか食べることはできていたようでした。むしろ先生の方が困っていたくらいで……。」

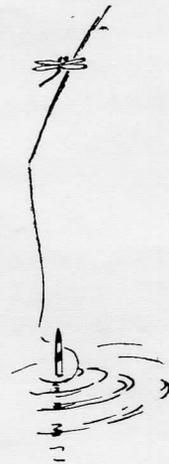
#### ・西成警察と同居していたことは

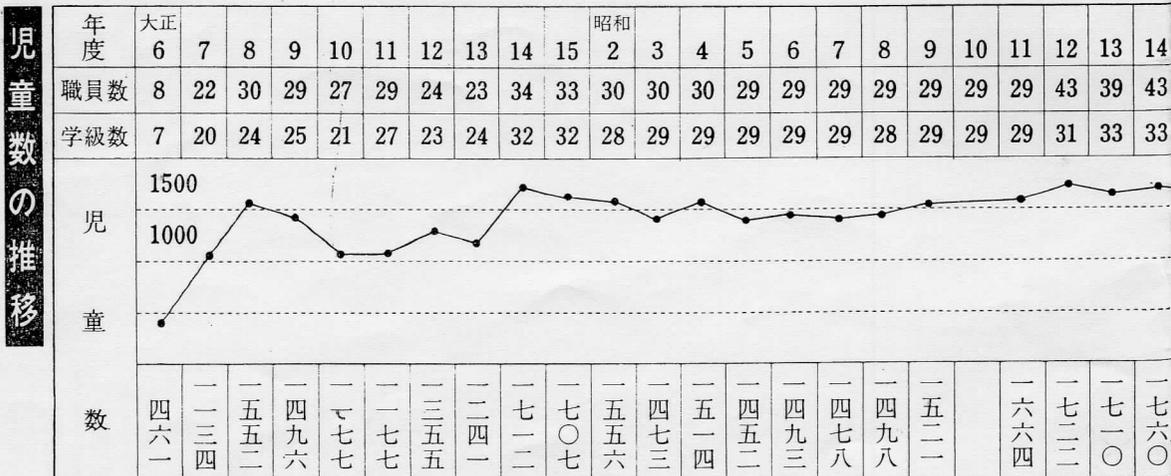
「今の東側の校舎の一部を西成警察が21年の10月ごろまで使用していました。ちょうどヤミ市がさかんなときで、あちこちで売られている品物を公定価格で買いあげていたとか言ってました。そのため大ぜいの人がこの学校に出は入りしていました。だから学校の中は、ごったがえしていましたね。」

#### ・学校が落ちついたのは

「そうですね、昭和23年に、国民学校から萩之茶屋小学校と改称し、ぼつぼつ地方へ疎開していた子どもたちが、この地域にかえってきたころからですかね。でも、ほんとに学校らしくなってきたら勉強しはじめたのは、25年ぐらい、つまり松井校長から裏校長にいたるころだったでしょう。松井校長は教室その他内部設備をととのえるのに非常に力をつくさされていました。また一方、校庭は、いも、やさいづくりのため、よく掘りおこし、作物をつくの一生懸命です。とにかく、子どもも先生も真剣によく働きました。地域環境、学校環境、すべてが荒れはてていたところから、何とかして少しでもよくしようという気持ちでいっぱいでしたね。」

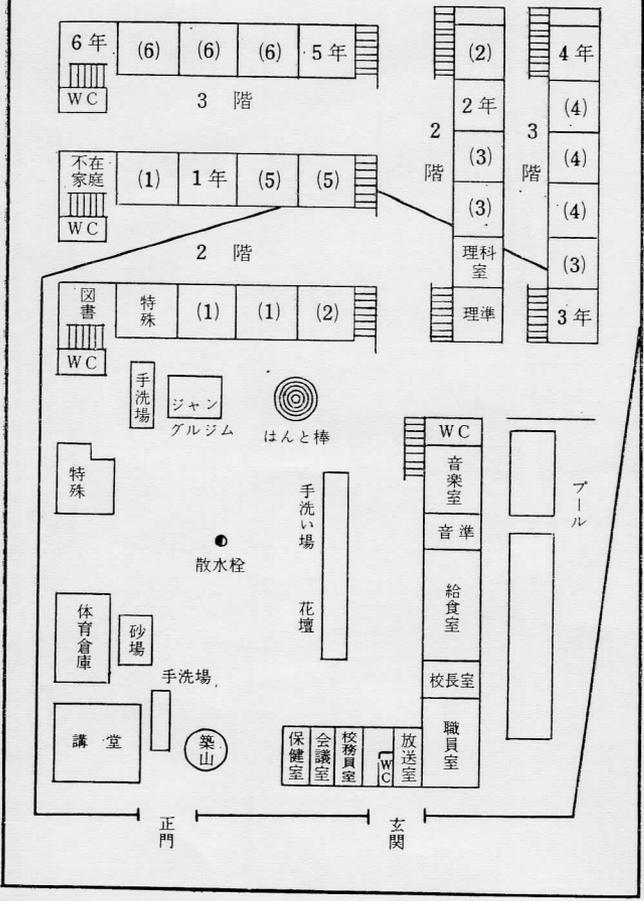
「今の子どもたちには、とうていわからないことかもしれませんが、そういうみんなの強い願いや希望が今、現在の萩之茶屋小学校を支えていることをわからせなくては、この学校、いや私たちの学校ということが理解できないのではないのでしょうか。」





# 校舎平面図

校地6600m<sup>2</sup> 運動場3000m<sup>2</sup>



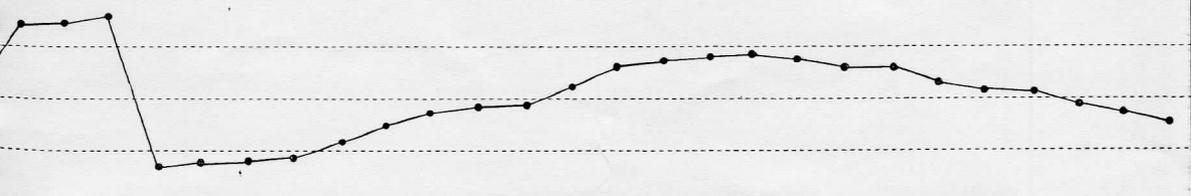
# 学級編成表

(5月24日調べ)

学年	組	担任名	児童数			仮入学		特別学級	
			男	女	計	男	女	男	女
1	1	西川 守	20	15	35				
	2	北辻由紀子	17	17	34		1	1	1
	3	石田 洋一	17	16	33		1		
	4	小林 路子	17	16	33		1		
計			71	64	135	0	3	1	1
2	1	吉野 武	24	22	46				2
	2	三輪 政江	22	20	42	1			
	3	白崎みゑ子	22	21	43				
計			68	63	131	1	0	0	2
3	1	丸岡 浩	20	17	37		1	2	2
	2	徳谷キクエ	16	18	34		1		
	3	田名瀬善三郎	22	12	34				
	4	樺山 亨子	18	17	35	1			
計			76	64	140	1	2	2	2
4	1	河野 静雄	21	17	38		1	1	
	2	四条 愛子	21	18	39				
	3	前川 守盛	21	15	36				
	4	柳沢佐千子	21	17	38				
計			84	67	151	0	1	1	0
5	1	竹沢 増雄	27	21	48			3	1
	2	藤井 勝子	23	19	42	1			
	3	橋本 演夫	25	16	41	1			
計			75	56	131	1	0	3	1
6	1	向川 幹雄	23	17	40			6	2
	2	福森 正幸	16	15	31				
	3	大谷 正	15	17	32	1			
	4	木村由利子	13	19	32				
計			67	68	135	1	0	6	2
特		前川 清亨						6	4
		吉野 亨						6	4
合	計		441	382	823	4	6	12	8

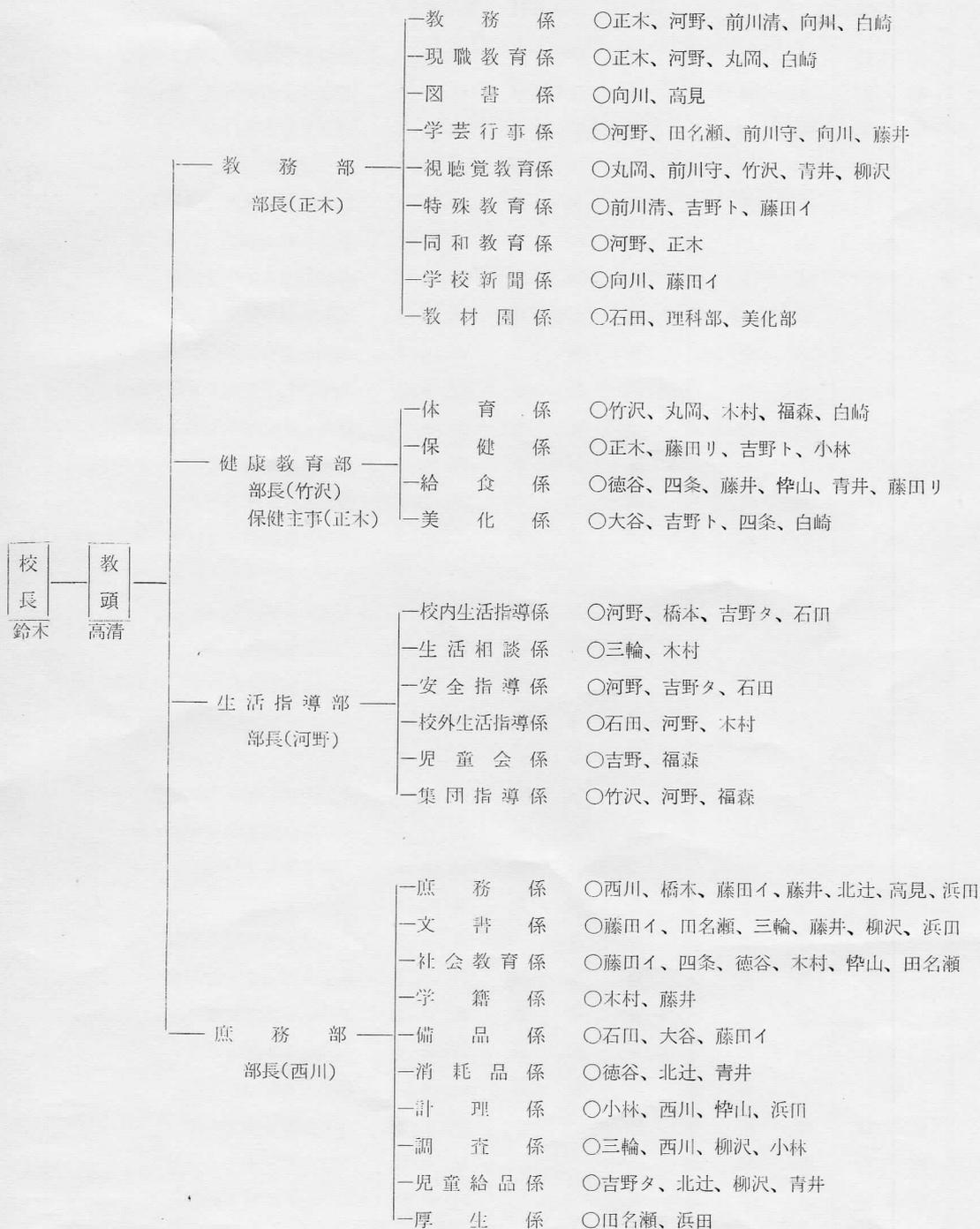
15  
43  
33

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
31	31	33	8	11	11	12	13	14	17	17	21	21	24	26	28	28	28	28	28	27	30	33	33	34	31
32	33	33	8	11	11	12	13	14	17	17	20	21	24	26	28	28	28	28	28	27	26	27	26	26	24



一七二六	一七一八	一八一九	三五六	四一五	四二〇	四七八	五九七	七〇五	八四七	九〇〇	九八九	一一六五	一二六五	一三四八	一四〇四	一四五五	一四四八	一三八七	一二八三	一一九四	一〇六六	一〇五一	九四二	八九六	八二九
------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----

# 校務分担一覽表



年 間 主 要 行 事

入学式もおわり  
集団登校が始まります。



小運動会 ひろびろとした住の江公園でカーバイ  
走りカーバイ運動しました。



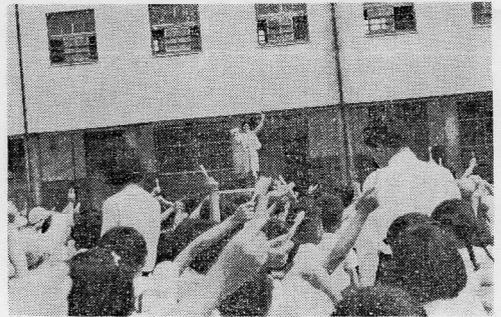
遠 足 みんなぬれたタオルで手をふき汗をふ  
いていたのしくお弁当をたべました。



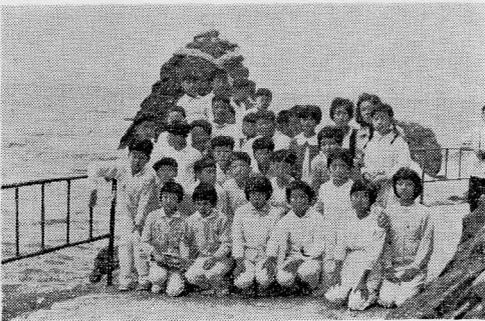
臨海学舎 5・6年がいっしょになって若狭高浜  
で水泳訓練をしました。



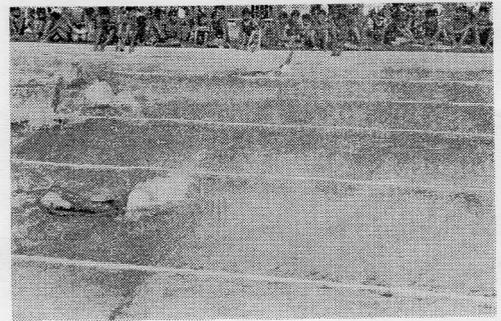
歯みがき訓練 みんなきれいな歯になってきました



修学旅行 伊勢方面への卒業旅行は一生の思い出  
になるでしょう。

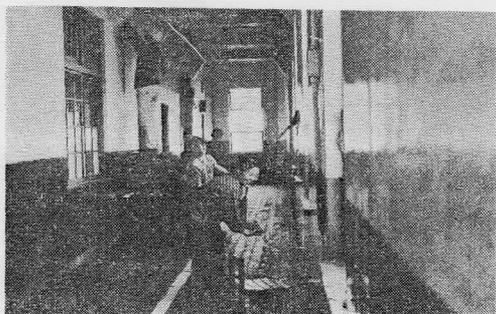


プール開き さあ、きょうからプール、たくまし  
い体をつくろうとはりきっています。



年 間 主 要 行 事

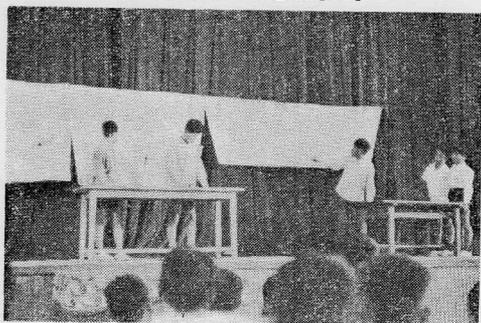
PTA清掃 毎学期始まる前に学校を美しくしてください、おとうさんおかあさん  
ありがとう。



音 楽 会 ふだんの音楽学習の成果を発表してきました。



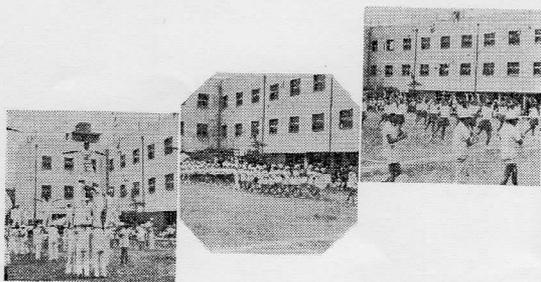
校内研究発表会 休み中の観察や研究をもとに毎年発表会をもっています、だんだんじようずになってきました。



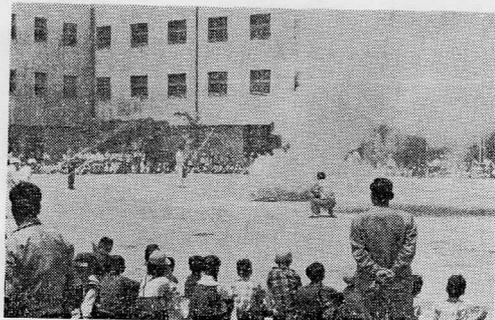
おかあさん方のコーラスもふだんの練習の成果がよくあられ拍手をあげました。



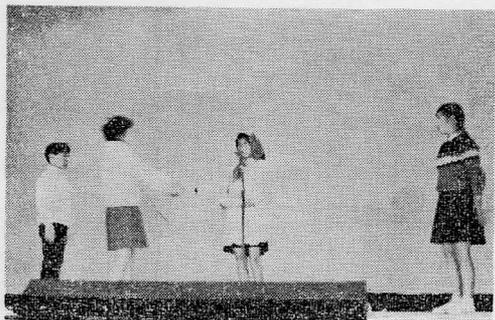
大運動会 たのしく、ゴミのない運動会としてたいへん成果をあげてきました。



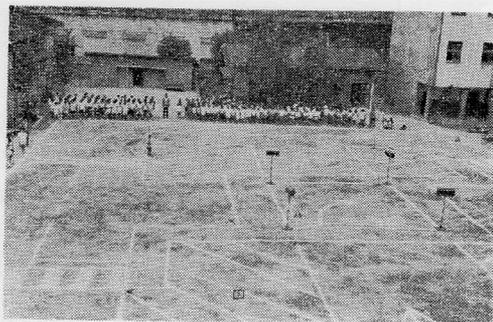
退避訓練 毎月だまって正しく早くを、目標に練習をしています。



学 芸 会 だんだんりっぱな学習発表会になってきました。



交通安全指導 正しく交通のきまりを守ってけがや事故のないように気をつけています。



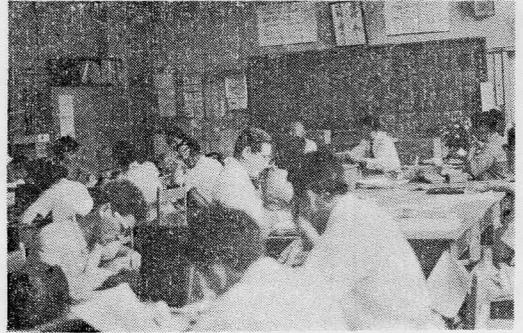
# たのしい学校生活

数日にわたる、そう動にもかかわらず、こどもたちは明るく元気によく学び、よく遊び、昨年度表彰を受けた健康優良学校大阪府準一位にふさわしく、学習に、クラブ、部活動、課外活動等学校生活をたのしんでいる。

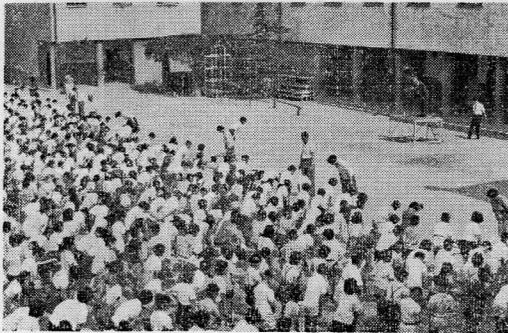
朝の集団登校



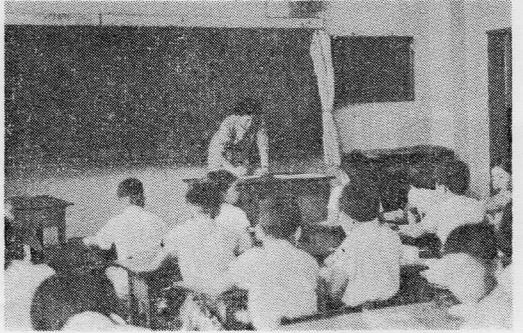
きょう一日の計画を相談する先生方の職員朝礼



「先生おはようございます」児童会会長の号令で朝礼がはじまる



朝の健康観察と清潔検査はなかみ、ハンカチ忘れた人はいませんか



さあ学習がはじまった  
ハイ/ハイ/と元気よく手をあげる一年生



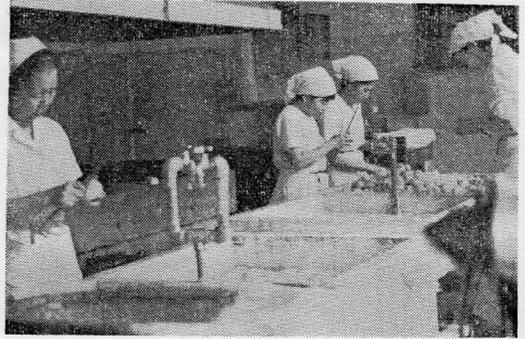
図書館でもべんきょう。たくさん本があって楽しいな



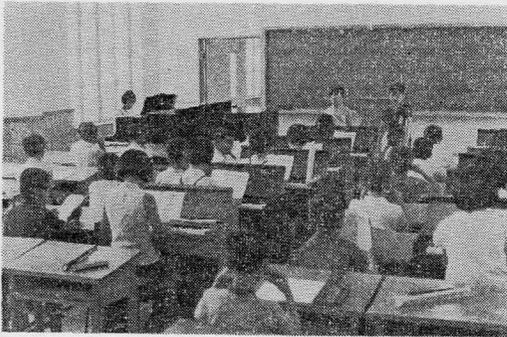
遊ぶ時間は運動場で元気いっぱい



おひるにまにあうよう給食のおばさんはいそがしい



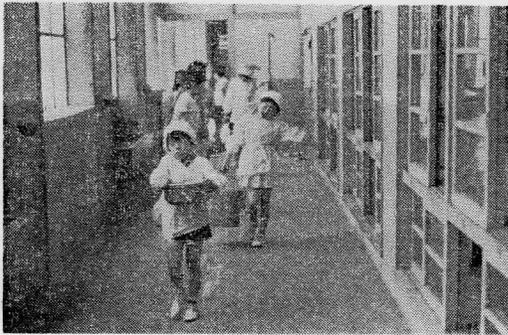
新しくできた音楽教室オルガンもたくさんあって  
みんながひける



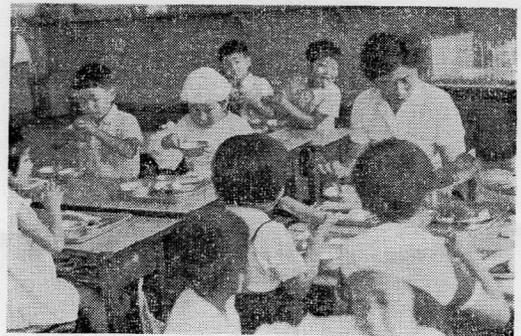
4時間のおわりのチャイムがなった一番うれしい給食です。みんなうがいをしたり、手をあらいます。



給食とうぼんどころうさん



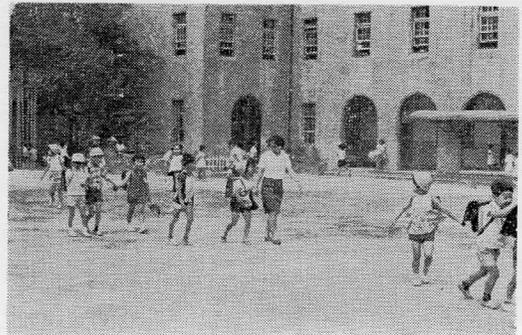
先生といっしょうれしいな



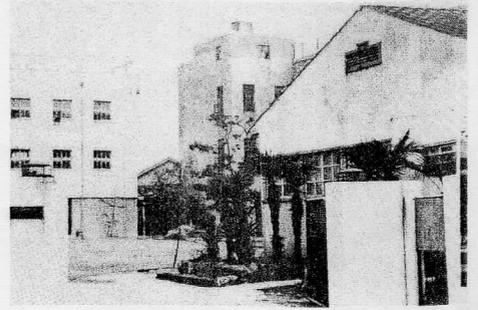
給食がすんだら一せい清掃、先生もいっしょにや  
ってください



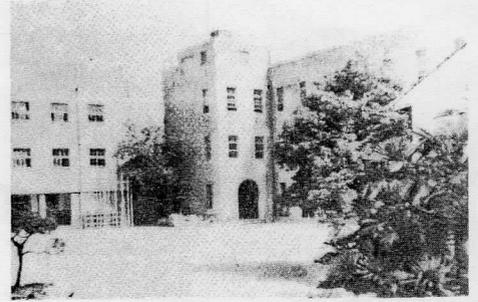
先生におくってもらって一年生は帰ります



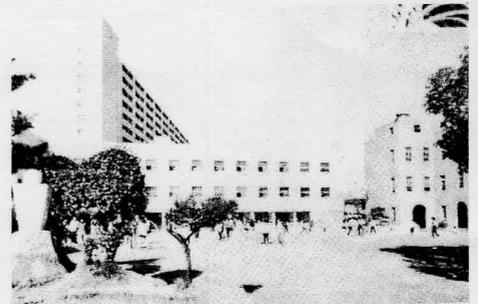
- 昭和 34・4・6 正門外柵工事完了
- 35・9・18 東校舎一階2教室を給食調理室に改装
- 35・12・9 木造平屋建校舎新築
- 37・8・ 講堂建設のためパネル式校舎撤去
- 38・2・22 講堂 竣工
- 38・6・8 プール外柵ブロック工事完成
- 39・6・ プール浄化装置完成
- 40・2・ 北校舎1階1教室を特殊教室に改装
- 41・1・24 給食室風防工事及び屋根付渡り廊下完成
- 42・4・30 東校舎1階2教室を音楽室に改装
- 42・5・10 体育倉庫の改築
- 44・10・24 校地（北東の一角）拡張
- 50・5・20 東校舎東側の窓、アルミサッシに取替
- 51・5・24 東校舎2階北2教室を図書館に改装
- 51・8・31 プール浄化装置付け替
- 51・11・2 北校舎1階1教室を第2保健室に改装
- 53・3・3 北校舎1階1教室を養護学級教室に改装
- 53・5・2 木造平家屋南校舎解体
- 53・5・29 東校舎西側の窓、アルミサッシに取替
- 53・10・19 鉄筋コンクリート造り2階建南校舎竣工  
(玄関・管理作業員室・放送室・会議室・  
家庭科室・家庭科準備室)
- 54・3・1 鉄骨平屋建講堂解体
- 54・8・31 鉄骨造平屋講堂兼体育館竣工
- 54.10.15 通用門及び講堂南側の塀改装



▲昭和33年頃校門より校舎を写す

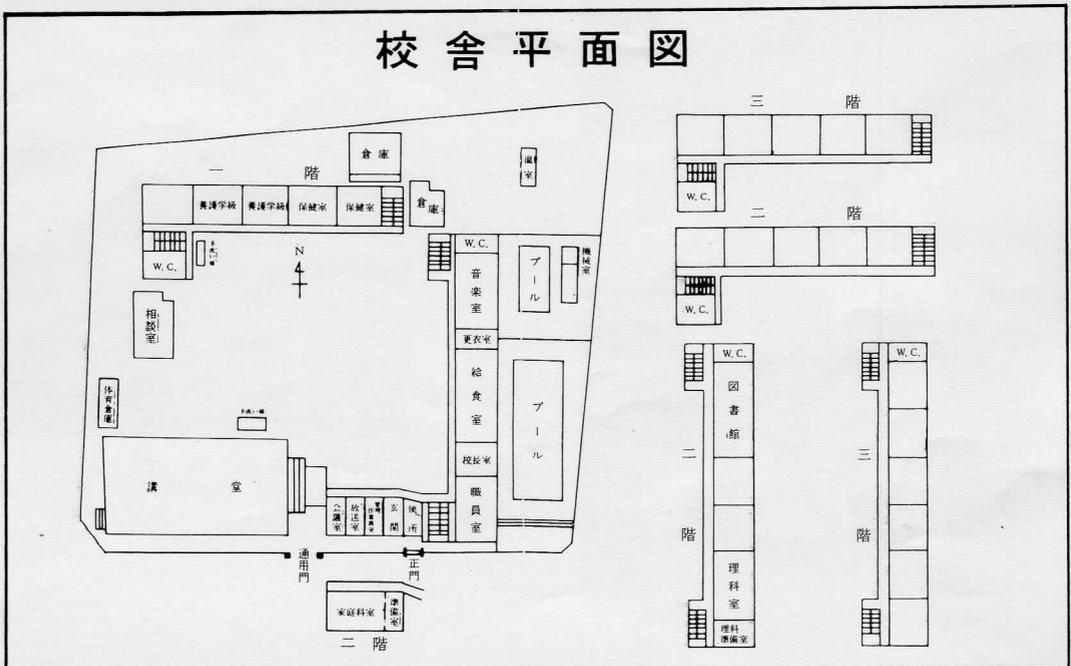


▲昭和38年頃校門より校舎を写す



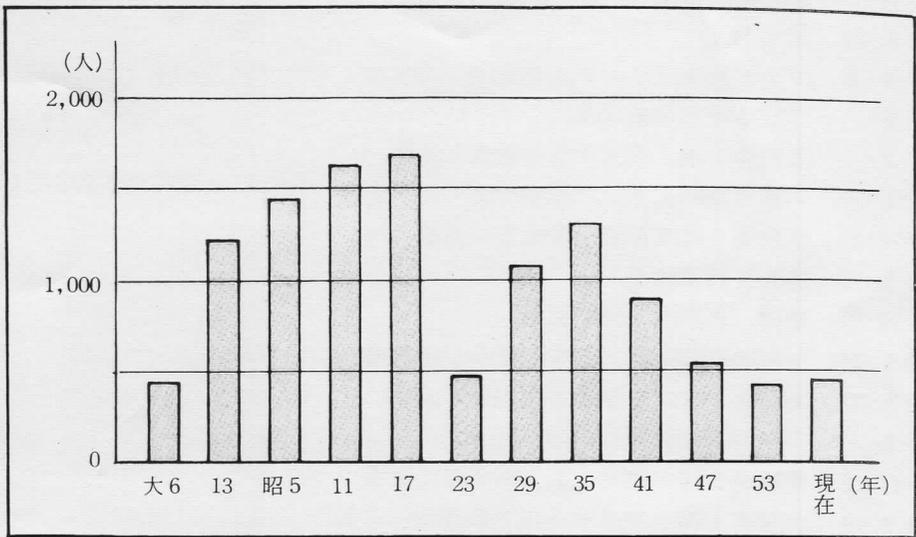
▲昭和48年頃校門より北校舎を写す

## 校舎平面図



# 該当年度における児童在籍数

(昭和54年現在卒業生総数 9738名)



## 学校生活の今昔



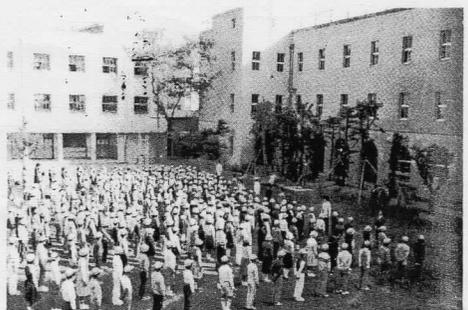
▲ 旧講堂での卒業式  
(昭和50年3月)



▲ 旧南校舎前を走る耐寒かけ足  
(昭和49年2月)



▲ 新しい玄関前の登校のようす  
(昭和53年11月)



▲ 全校朝会  
(昭和54年10月)

(習 字)

そ うれい つ  
き ねん び  
一ねん かつう あやこ

が っ こ う  
そ うれい つ  
き ねん 日  
二年  
はまきの子

そ うれい つ 五十年  
明 る く つ よ く  
そ だ つ は ぎ の 子  
三年 あらきまゆみ

そ うれい つ 五十年  
明 る く つ よ く  
そ だ つ は ぎ の 子  
三年 星野ひろこ

日 月  
四ノ三南方志満子

日 月  
四の二松本弘

創立記念日

五十周年  
五ノ十

大 阪 市 長 賞  
晴 空 机  
五年 大木久雄

全国書きぞめ作品展覧会で  
大阪市長賞を受く

## 創立50周年記念

6年3組 山下 朋子

わたしたちの萩之萩屋小学校が立ってから、ことしでちょうど、50年になります。わたしたちの、おにいさんやおねえさんたちが、この学校で学びはげんだのです。この萩之萩屋小学校は、大正6年に立てられたのですから、いままでこの学校で学んだ人たちは、ずいぶん苦労しただろうと思います。大正にうまれてきた人たちの学校は、わたしたちのように、りっぱな校舎や、りっぱな講堂はなく、全部木造だったと思います。それから戦いをやっている時に、うまれてきた人たちはそれよりもなお不幸だったと思います。それは戦争のためこの学校も一時あれて、勉強どころではないと、思ったからです。そう思うと、わたしたちは幸福です。学校の設備もよくできていますし、りっぱな講堂もあります。だから、わたしたちは文句はありません。

わたしたちの学校は50年の間、いろいろなことを、見てきました。わたしたちの知らないことも、学校は知っています。萩之茶屋小学校は人間でいえば50才です。萩之茶屋小学校は50年という長い間いろいろなのおこないを見てきました。50年もの間、先生が出ていたり、入ってきたりしました。けれど私たちは、そんなことは、かまわないというふうでした。そして校長先生も変わりました。ことしは、やさしかった一位校長先生がちがう学校に変わりました。けれど萩之茶屋小学校は変わりません。わたしたち6年生は来年卒業しますが、これからも、この萩之茶屋小学校をもっと、りっぱにしてほしいとわたしはねがっています。萩之茶屋小学校、ばんざい。

## 50周年の萩之萩屋小学校

5年1組 山崎 知恵子

萩之茶屋小学校は、今年で50才です。父も、この萩之茶屋小学校をでました。父の話を聞くと、新こうしゃはまだたっていないくて、こうどうも木造だったそうです。

男女別々の組だったそうです。

学校の前は、畑でねぎがいっぱい植えてあったそうです。そのころの校長先生は、正井米三郎校長先生と父がいていました。そのころの学校の名前は、萩之

茶屋小学校とはいわないで、今宮第三じんじょう小学校といったそうです。

父がそつ業してからは、第2次世界大戦できゅうこうしゃだけのこして、あとは、みんな焼けてしまったそうです。

それからまた、学校をたてなおして、少したってから、また、火事で焼けてしまったそうです。それからまた学校をたてなおし、それが今のこうしゃだろうと父はいていました。

それから今は、こうどうも、てっきんででき、プールもいいのができました。体育そうこも今年新しいのができました。草花もたくさん植え、池もでき、ほんとうぼうもできました。

きょう年は、先生や生徒たちの努力によって、けんこうゆうりょう学校準1位として選ばれました。

こういうふうにまい年成長していく萩之茶屋小学校を見て、わたしたちも、たいへんうれしいことです。

## わたしたちの学校

4年4組 河合 由美子

わたしたちの学校は、緑が多くて、わたしの教室の新社しゃから、南海電車が見えます。

わたしの学校には、ほんとうぼう、こうどう、鉄ぼうなどいろいろなものがあります。でも、多ぜいのせいで、それらのものは、こんでいます。

ほかの学校へかわる人、てんこうしてくる人いろいろあります。

こうむいん室のおじさんは、ごみをひろってくださったり、いろいろのことをしてくださいます。

先生は、いっしょうけんめいおしえてくださいます。遠い所から、まい朝、早く起きて、きてくれる先生もいます。今までの校長先生は、とてもやさしい方で、この、萩之茶屋小学校のために、5年間もど力してくださいました。

前までの、きょうとう先生が、校長先生になり、新しく、きょうとう先生が、はいてこられました。新しい校長先生も、きょうとう先生も、とてもやさしい方です。

この萩之茶屋小学校には、新しく、音楽室ができました。わたしたちみんなは萩之茶屋小学校のために、ごみをひろったり、らくがきをけしたりいっしょうけんめいします。

そうりつ50年きねん

3年4組 城井ひろみ

わたしは、はじめ学校が、うまれて50年目とはしりませんでした。でも、先生からお話をきいて、わかりました。

この学校を、おいわいするときは、げきもするし、わたしたちの作品のてんらん会もひらくそうです。

わたしは、先生から、「もう、この学校は、50才ですよ。」と、いわれたとき、わたしは、『わあーこの学校も、50才か、だいぶん、としとして古い学校なんだなあー』と思いました。

はじめは、きゅうこうしゃしかなかったのですよと先生はいわれました。とすると、せいともだいぶんすくなかったし、また、きゅうこうしゃだけだったから、だいぶんと小さな学校だったんだなあーと思いました。それが今では、こうどうや理科室や音楽室ができ、ずいぶんりっぱな学校になってきました。これからも、りっぱなものができ、わたしたちもいっしょうけんめいがんばって日本一すばらしい学校にしてい

たいとおもいます。そして心から「おめでとう。」と、いってあげようとおもいます。

お て つ だ い

2年2組 まつながたつや

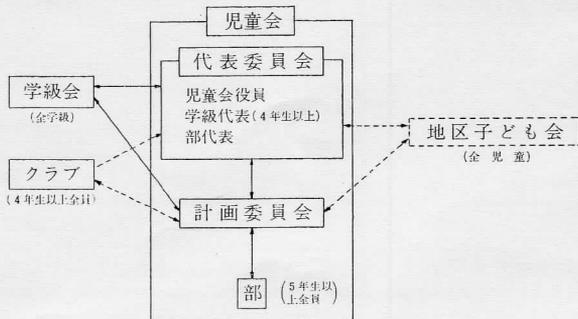
きのうは、おかあさんの、うんどう会でした。おかあさんは、きのうのうんどう会であしを、けがしているので、いちばも、ちゃわんあらいもできません。ぼくとおねえちゃんは、おかあさんに、てつだってあげました。おかあさんはぼくとおねえちゃんを、ほめて20円ずつくれました。ぼくは、20円もって、おかしやで、「クリームちょうだい。」と、いって、ふくろにいれてもらって、かえりました。おかあさんにもすこしあげました。おかあさんは、「ありがとう」といってまた10円くださいました。ぼくは、「ありがとう。」と、いってちょきんばこへ、10円ちょきんしました。10円玉は、ちょきんばこの中で、かちゃんと、なりました。

児童会活動の組織

学校環境の充実にともない、児童たちは、自分たちの学校生活を、より楽しく、より豊かにしようという意欲が、いっそう盛り上がってきている。そして、それらの問題について、自発的に、自治的に、話し合っ解決していこうと、下のような組織によって、活発に活動し、また努力している。

部活動とクラブ活動の現況

児童たちは、先に述べた目的を達成するための1部面として、部活動を行ない、学校の仕事を分担し、創意やくふうをしながらそれを処理している。また、クラブ活動をとおして、自主性、自発性を伸ばしている。



部 活 動

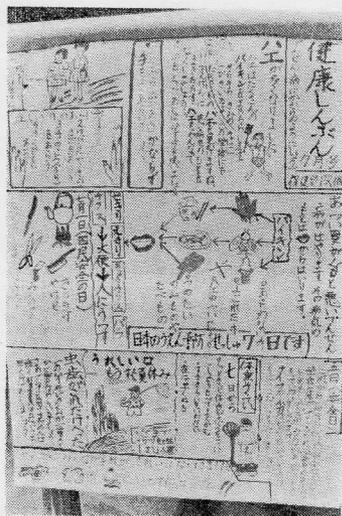
部 名	児童数	班数	活 動 状 況
新 聞	12	2	・毎月1回、高学年向きと低学年向きの壁新聞を発行。
放 送	14	6	・始業前・給食時・放課後の校内放送と朝礼・運動等の放送準備や協力。

掲 示	6	1	・玄関・おどりの場の掲示板に、児童作品・写真・ポスターなどを、集めたり作ったりして掲示。
保 健	38	5	・保健室・手洗場の清潔。けがの手当ての補助や原因調査・統計・掲示。清潔検査の統計・掲示。消毒液の補充。欠席および健康観察簿の配布・集計。毎月健康新聞（かべ新聞）発行。ポスター作成掲示。
体 育	38	10	・体育用具の安全点検・整備。遊びの調査とよい遊びの紹介。
給 食	28	2	・運び方・くぼり方の調査とくふう。当番の服装・手洗い・指定階段の使用状況調査。献立て紹介、残量調査。
飼育栽培	18	6	学校園の手入れと世話、栽培の計画とくふう。
安 全	39	8	・廊下・階段の歩行指導。危険な遊びの発見と、よい遊びの奨励。安全生活の啓もう、集団登校の状況調査と改善のくふう。
美 化	29	2	・清掃用具の整備や清掃のしかたのくふう。清掃状況の調査。
会 計	10	1	・教育設備助成マーク集めや整理のくふう、各種募金への協力。
図 書	16	6	・図書の整備・貸出し・修理。図書の紹介。利用状況調査。

## ク ラ ブ 活 動

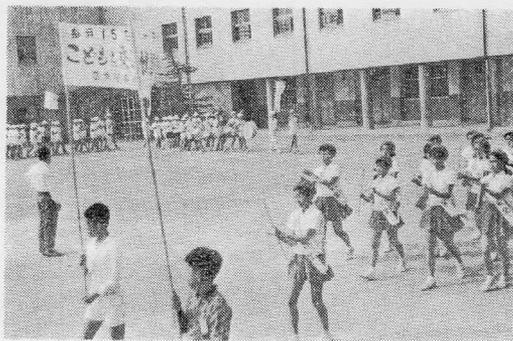
本校では水曜日の6時限クラブの時間になっている。4年生以上全員が、それぞれ希望する部に入って自主的に計画をたてて活動している。学年、学級のわくをはずして互に協力し研究しあうこのクラブ活動もこどもにとって楽しい学校生活の一コマである。

クラブ名	児童数	班数	活 動 状 況
郷 土	41	10	・校下の地図を作成し、古蹟を調べて記入する。校下の実態をいろいろな角度から調査する。
統 計	4	1	・いろいろな資料を集計し、それに適する表やグラフを作る。
科 学	71	15	・創造的な模型工作、生物の観察、化学実験。
器 楽	35	1	・合奏をする。いろいろな楽器に親しむ。名曲鑑賞をする。
美 術	20	1	・いろいろな素材を使って、描画・工作・デザイン・版画をする。
書 道	32	2	・いろいろな目的に合った素材や文字をくふうする。
手 芸	53	4	・いろいろな素材を使って、季節的な実用品を創作したり、ししゅうをする。
裁 縫	38	2	・いろいろな縫い方を応用したり、ミシンを使って創作する。
スポーツ	71	4	・ボール運動を主とし、陸上運動・器械運動・その他の運動をする。
バ ト ン	30	3	・リズムに合わせてバトン操作や隊形をくふうしたり創作する。
文 芸	4	2	・読書をし、記録をしたり感想文を書いたり、作文をしたりする。



部活動 (保健部活動の一例)

クラブ活動 (バトントン部活動の一例)



きびしい練習を続けるバトンクラブ、どの顔も汗びっしょり



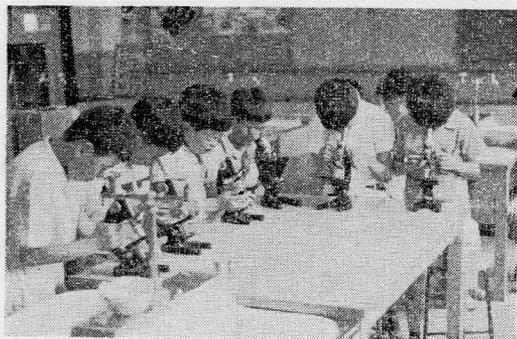
おやつ、なにを見ているのかなしんけんな顔で顕微鏡をのぞきこむ豆科学者たち (科学クラブ)



新装なった音楽準備室で合奏をたのしむ音楽クラブ



あれあれガンのくすりでも発見したのかな (科学クラブ)



人体模型をつくる未来のお医者さん (科学クラブ)



## 歴代 P. T. A 会長



川村 喜一 印刷商  
第一期 昭和23年

今宮第三小学校校庭問題で大き過ぎた前後  
援会長吉田繁重氏のを引きつぎ維持発展  
に努められた人である。  
菫之茶屋小学校と改称する。



大西 元徳 材木卸商  
第十一期 昭和33年  
第十二期 昭和34年  
第十三期 昭和35年

鉄筋 6 教室を増築し木造平家にあった給食場  
を鉄筋 1 階に移工改修した、校舎の正門外柵  
事を完了する。



朝田 善吉 金属工業社長  
第二期 昭和24年  
第三期 昭和25年  
第八期 // 30年  
第九期 // 31年  
第十期 // 32年

ジェーン台風のため木造平家の給食炊事場倒  
壊する。  
開校40周年記念事業としてプール創設完成す  
る。



時枝 静夫 水道工業  
第十四期 昭和36年  
第十五期 昭和37年

特殊学級教室を増設し特殊学級をおく。  
ガス暖恒装置が完了する。  
パネル教室を撤去し講堂を新築する。  
校門その他を改装する。



河合 福由 旅館経営主  
第四期 昭和26年  
第五期 昭和27年  
第七期 // 29年

木造平家建校舎（現保健室、校務員室）を竣  
工する。  
開校35周年式典をあげる。  
鉄筋 3 階建 9 教室を建設する。



矢野 一幸 食糧品商  
第十六期 昭和38年  
第十七期 昭和39年

旧鉄筋 2 階に理科教室を改装する。  
特殊学級教室を改造し 2 学級にする。



朝田 政治郎 金属工業支配人  
第六期 昭和28年

パネル式木造 4 教室を竣工する。

渡部 佐蔵 旅館経営

第十八期 昭和40年  
第十九期 昭和41年

校庭の築山を移転させて講堂の前に改築す  
る。  
体育倉庫と音楽室の改装をはじめめる。

巽 章 不動産業

第二十期 昭和42年

体育倉庫音楽室完成する。  
開校50周年式典をあげる。

## 同窓会の動向

### 同窓会を復活

戦前さかんに活動していた同窓会は、やむを得ない事情で、戦後は久しく休止の状態になっていた。裏栗太郎校長先生は、このままでは会員諸氏及び学校としてもまことに残念なことである。昭和27年は本校創立35周年にあたるので、その記念事業として是非復活させて会員相互の親睦をはかりたいと願われ、たいそう骨をおられた。まずその準備委員として、当時の実行委員の大津寄共助、川村喜一、大西元徳、河合福由、恒川専一、高橋慶子、宮本和三郎、須藤冬子の諸氏を中心として、各町から準備委員を4名～5名の選出を依頼された。会員諸氏はかねてから同窓会の復活を待ち望んでいたもので、準備委員はすみやかに決定し同窓会組織準備委員会が成立した。昭和27年11月16日、27日に二回委員会を開いて、会則作成、総会開催、役員決定について協議した。

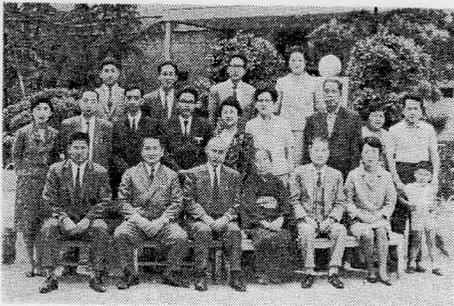
昭和27年12月7日（日曜）復活同窓会開催、実行委員および準備委員の方々の熱意と協力によって総会を開催した。当日は歴代の校長先生、教頭先生、来賓、旧職員の方々が出席され、会員300名参加し、盛大で、なごやかなふん囲気につつまれ関係者一同は、会の成功を喜びあった。

### 会の組織

母校の校長を顧問とし、会長1名、副会長（男女各1名）書記1名、会計1名、年次幹事（卒業時各学級より男女各1名宛選出）

### 会の運営

会則により、総会は、春季は校内、秋季は校外（ハイキング）と、年2回開催している。定例役員会を2回開いて総会開催について協議する。必要があれば随時に役員会を開くこともある。



経費は卒業時に納める1人200円の会費と、有志の寄付によってまかなっている。

春季総会には、会員は250名～300名参加する。その大部分は中学生であるが、近年高校生の参加者が、しだいに多くなってきた。

会長は西口昭二郎、信耕豊氏、日比野正雄氏に引き継がれた。三会長は、この土地に生まれ、育ち、そして社会人となり、校下は、もちろん、区内の青少年の育成にも、力を尽されている方々です。

## 終わりに

本校50年の移り変わりをわずかの資料をもとにやっとな編集のはこびにもちこみました。

学校は大正7年の米騒動からはじまって、たび重なる台風、戦災等げげしい苦難の道を歩みながらも、今日の輝然とした雄姿をほこっているのには先輩諸氏のご尽力のほどいかばかりかと偲ばれます。

このご労苦におこたえするのには、まことにはずかしい記念誌ではございますが、わたしたち編集委員はいそがしいあい間をぬいまして、できる限りの努力をしてきたつもりです。

不備なところは多いとは思いますがこのなかから子どもたちの成長ぶりや校下の皆さんのにじみ出る愛校心を読みとっていただきますれば幸いです。

この喜ばしい記念日をもとに、学校はもちろん本校下のさらにさらに発展しますことをお祈りするとともに、ご多用中にもかかわらず、ごむりな原稿をお願いしまして、お気持ちよくご寄稿くださいましたことを心よりお礼申し上げます。

<編集にたずさわった人>

藤田 巖、田名瀬善三郎、三輪政江、徳谷キクエ、  
四条愛子、正木 勝、河野静雄、吉野 武、向川幹雄、大谷 正。

### 創立50周年記念誌

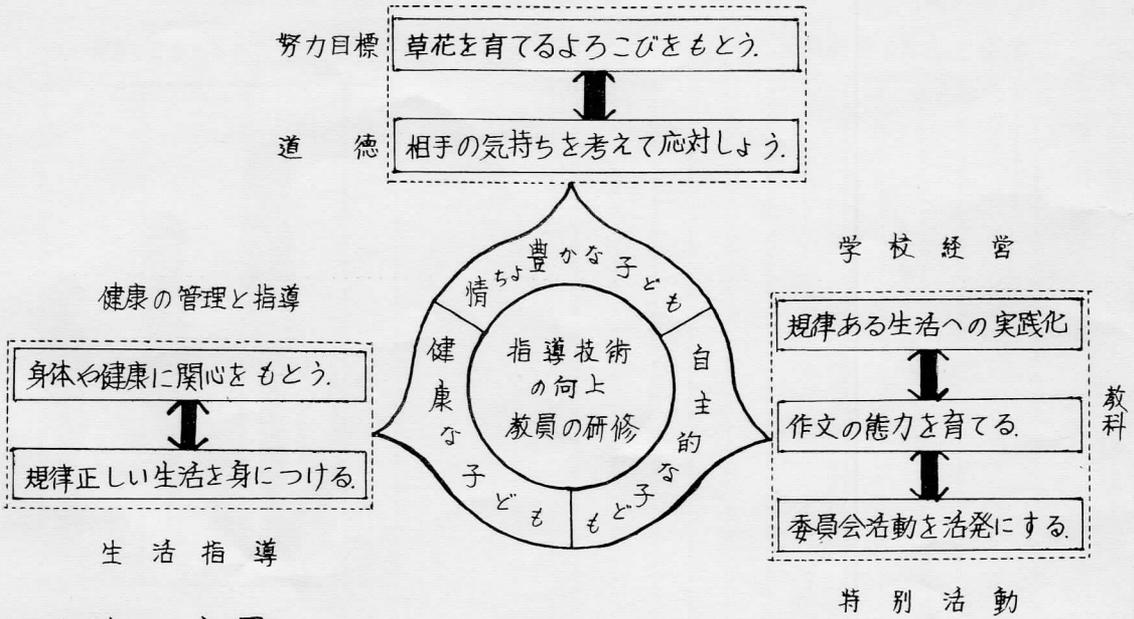
- 発行 昭和42年6月21日
- 発行人 大阪市立萩之茶屋小学校  
高 清 正 勝
- 印刷 但馬印刷株式会社

46

茶屋小学校

大阪市立萩之茶屋小学校

# 1. 教育指導の計画



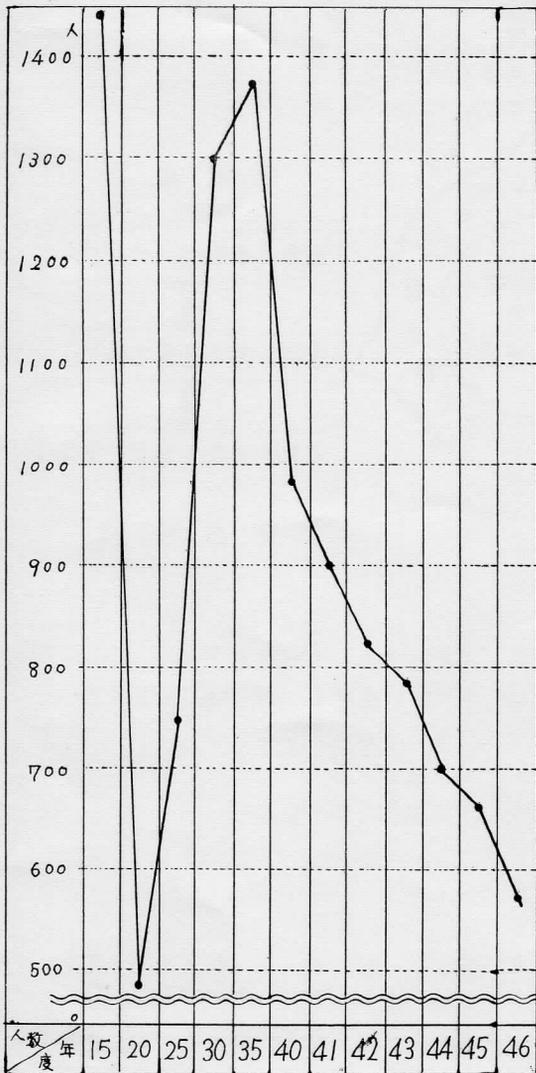
# 2. 沿革の大要

- 大 6. 6. 15. 大阪府西成郡今宮第3尋常小学校として創立する。(現在地)
- 13. 7. 1. 校舎東部一館を3階建鉄筋コンクリート校舎に着手し、14. 1. 31. 竣工する。
- 14. 4. 1. 大阪市編入により校名を大阪市今宮第3尋常小学校と改称する。
- 昭 4. 6. 4. 天皇陛下大阪市へ行幸。後牧野侍従ご差遣視察さる。
- 9. 9. 室戸台風により木造2階建校舎傾斜のため補強工事をする。
- 16. 4. 1. 大阪市立萩之茶屋国民学校と改称する。
- 20. 6. 15. 戦災のため本館木造2階建講堂全部焼失する。
- 22. 4. 1. 大阪市立萩之茶屋小学校と改称する。
- 29. 10. 17. 鉄筋3階建9教室竣工する。(現東校舎) 32. 7. 1. 創立40周年記念 プールできる。
- 33. 10. 21. 鉄筋3階建6教室および便所完成する(現西校舎)
- 36. 8. 3. 府警機動隊1か月にわたり駐屯。台風18号により板塀倒壊する。ガス暖房完成
- 38. 2. 22. 講堂落成式をかね創立45周年記念式典を行なう。 39. 6. プール浄化装置完成す。
- 40. 2~6. 講堂前に造園工事をPTAが作業奉仕により完成する。
- 41. 5~6. 府警機動隊学校講堂使用。
- 11. 21. 健康優良学校大阪府準1位の表彰を受ける。
- 42. 4~5. 旧館東校舎1階2教室を音楽特別教室に改装完成する。体育倉庫改装完成する。
- 42. 6. 3. 府警機動隊多数講堂使用。
- 42. 11. 8. 歯の特選校として表彰される。
- 44. 2. 12. 北鉄筋1階に新しい保健室ができる。
- 44. 10. 24. 北校舎の北側に校地拡張される。約220m<sup>2</sup>
- 45. 6. 13. 学級園が完成し。児童の手で作業をはじめ。
- 11. 2. 学校園を保護者と先生の協同作業により整地をする。
- 46. 5. 25. 府警機動隊多数講堂使用。

# 児童の実態

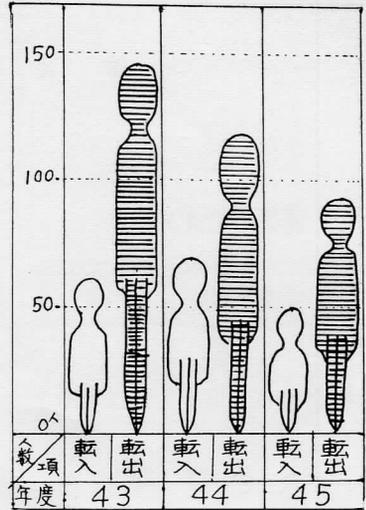
卒業生総数 8437名 (大正6年～昭和46年3月)

## (1) 児童数 (5月1日現在)



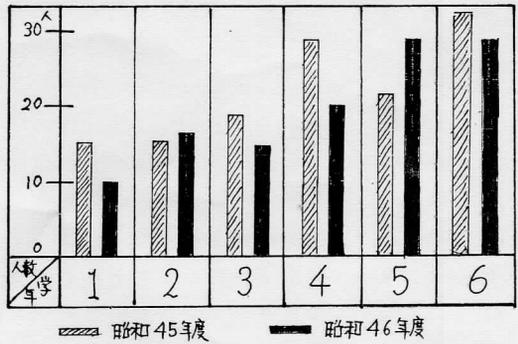
○現在は立ち退きによる減少が大きいから、それ以前から出入がはげしい。

## (2) 転出入児童数 (4月の在籍をもとにして)



○在籍の本におよぶ児童の転出入は教育指導の問題点となっている。

## (3) 不在家庭児童数



○不在家庭(あさがお会)は全校の1/4前後で2名の指導員で午後5時まで指導している。

## (4) 学習参観出席率 (%)

年度	実施月	4	4	5	6	7	9	11	12	1	2	3
昭和44年度		50.6	44.7	47.0	44.7	54.8	41.6	37.5	51.6	34.2	35.4	47.1
昭和45年度		53.8	56.4	53.4	48.7	62.8	50.5	46.8	55.2	40.0		48.7

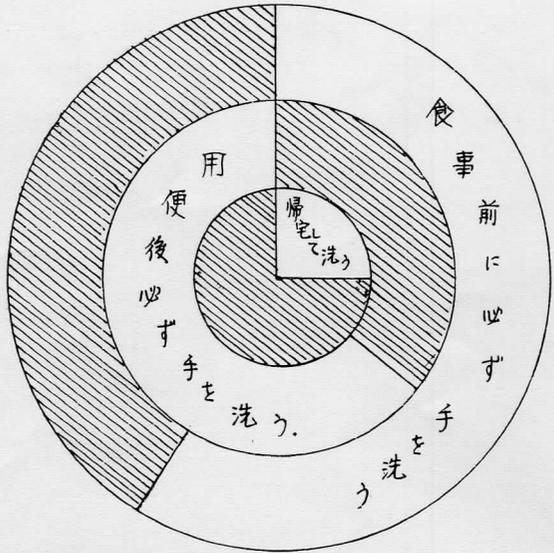
○出席しうる家庭がふえてきているが、1回も出席しえる数は1/8である。

(5) 途中入学児数

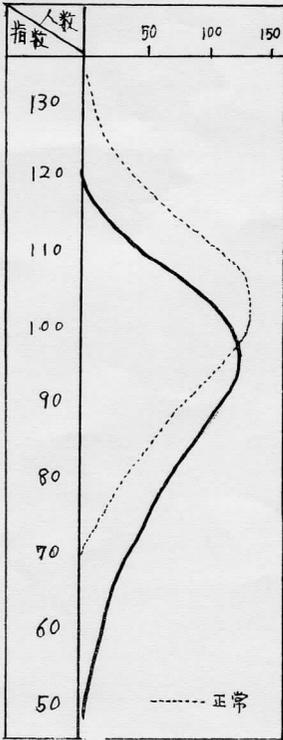
転入 学年	一年より	二年より	三年より	四年より	五年より	六年より
特殊	5	7	2	2	1	0
6年生	62	1	0	5	5	0
5年生	74	1	7	5	6	
4年生	77	8	3	1		
3年生	57	7	2			
2年生	99	3				
1年生	105					

。1年生に入学して6年間 在学する児童は約半数であり、転校回数が多い児童は4~5回におよぶ。

(6) 健康生活の習慣(手洗い)



(7) IQ 曲線



(8) 年間欠席者

日数 学年 調査数	5 以上	10 以上	15 以上	20 以上	25 以上	30 以上	40 以上	50 以上	60 以上
6(73)	43	9	2	1	1	1	1	0	0
5(93)	24	13	3	5	1	1	0	0	1
4(89)	18	7	3	2	1	1	0	0	1
3(66)	42	15	1	1	4	0	0	0	0
2(102)	63	15	5	4	1	0	2	1	2
特(17)	4	2	2	0	2	1	0	1	1
計(440)	194	61	16	13	10	4	3	2	5

(9) 就学援助受給者 (5月1日現在)

項目	学年	1	2	3	4	5	6	計
要保護児童数		未定	9	3	5	2	6	25
準要保護児童数		11	9	10	15	26	10	81

学校要覧

# 萩之茶屋

講堂兼体育館落成記念

昭和54年11月27日

大阪市立萩之茶屋小学校

# 校歌

(一)

作詩 大高 慎吾  
作曲 山中 二郎

空の色も うつくしく

遠い生駒の 山々が

しずかに窓に うかびます

私たちも あのような

けだかい心になりましょう

(二) 萩の花が うつくしく

さいた昔の ありさまを

しずかに胸に えがきます

私たちも そのような

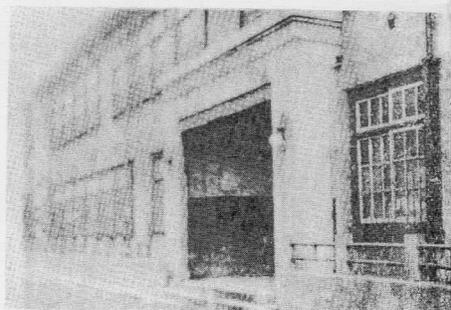
ゆたかな心を そだてましょう



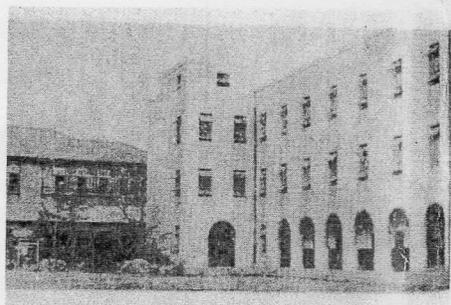
考える子  
やりぬ子  
たすけ子

## 学校沿革の概略

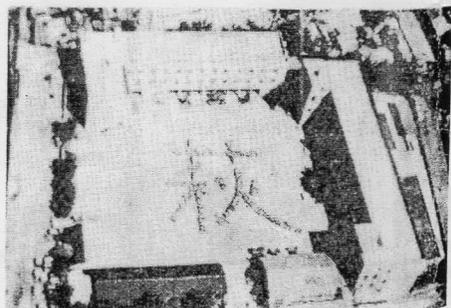
- 大正 6・6・15 大阪府西成郡今宮第3尋常小学校として創立  
7・12・4 大阪府西成郡今宮第3尋常高等小学校と改称  
14・1・31 鉄筋コンクリート3階建東校舎竣工
- 昭和 3・3・29 西棟17教室を木造2階建に改築  
4・6・4 牧野待従御差遣視察  
9・9・21 室戸台風により木造2階建校舎傾斜のため補強工事  
14・3・ 木造4教室建設  
15・2・21 大阪市立萩之茶屋国民学校と改称  
19・9・9 府下泉南郡樽井町及び西信達村に学童疎開  
20・6・15 戦災のため本館木造2階建校舎及び講堂全部焼失  
22・4・1 大阪市立萩之茶屋小学校と改称  
25・9・3 ジェーン台風により木造平屋建給食炊事場倒壊  
26・6・8 木造平屋建校舎竣工  
27・10・15 校歌を制定  
28・4・20 パネル式木造4教室竣工  
29・10・7 鉄筋コンクリート3階建9教室（北校舎東半分）竣工  
32・7・1 プール完成（創立40周年記念）  
33・10・21 鉄筋コンクリート3階建6教室（北校舎西半分）竣工



▲昭和15年頃の校門



▲昭和18年頃の校舎



▲昭和33年頃の校舎全景

# 南校舎のできるまで

## 1. 建築構造

鉄筋コンクリート造2階建

## 2. 建築面積

172.34㎡

(延面積 361.68㎡)

## 3. 工事の概況

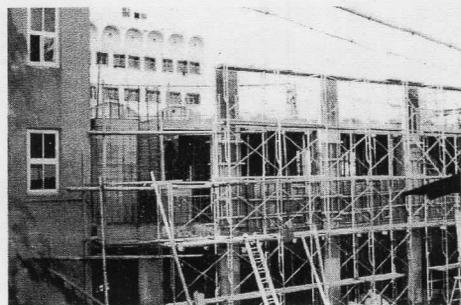
- 53・3・9 仮設プレハブ校舎工事  
(放送室・管理作業員室)
- 53・5・2 木造平屋建南校舎解体始まる
- 53・5・17 地鎮祭
- 53・5・20 基礎工事始まる
- 53・6・21 1階部分コンクリート打ち
- 53・7・15 2階部分コンクリート打ち
- 53・10・19 南校舎本体及び校門工事竣工

## 4. 内部施設・設備

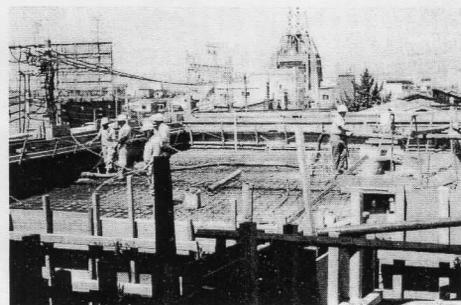
- 1階…校門・玄関・会議室・放送室・  
管理作業員室
- 2階…家庭科室・家庭科準備室



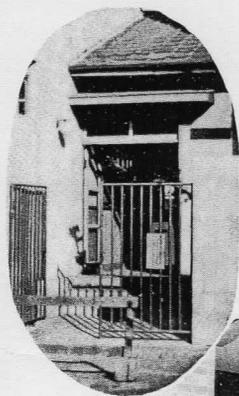
▲南校舎全景 (昭和54年10月)



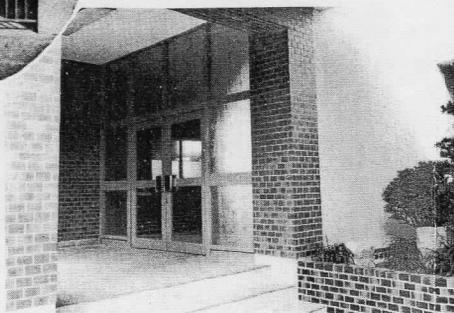
▲二階部分の工事 (昭和53年6月)



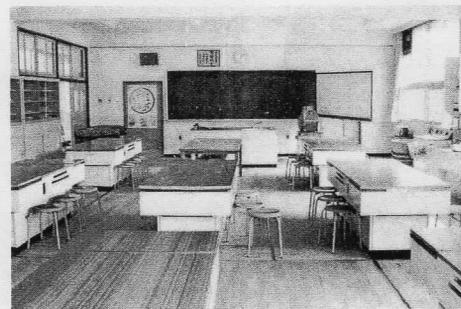
▲屋上コンクリート打ち (昭和53年7月)



▲改築前の玄関  
(昭和52年3月)



▲新玄関 (昭和54年10月)



▲家庭科室 (昭和54年10月)

## 建築構造

鉄骨造平屋建

## 建築面積

580.102㎡

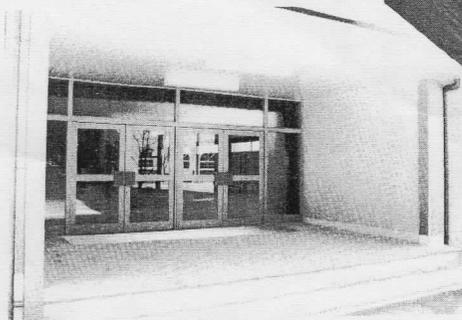
(延面積620.21㎡)

## 工事の概況

- 54・3・1 講堂解体工事始まる
- 54・3・8 植木移植
- 54・3・28 整地完了
- 54・4・5 地鎮祭
- 54・4・11 基礎工事始まる
- 54・5・7 基礎コンクリート打ち
- 54・5・18 鉄骨組み立て
- 54・7・20 外壁工事完了
- 54・8・12 内装工事完了
- 54・8・31 講堂兼体育館本体工事竣工
- 54・10・15 通用門及び講堂南側の塀新装工事完了
- 54・11・27 落成式

## 内部施設・設備

- 放送室・更衣室・体育用具室
- バレーコート・バスケットコート(2面)・移動用鉄棒



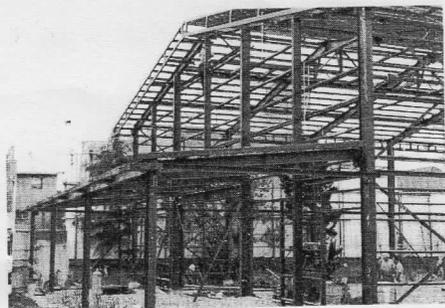
▲新講堂入口(昭和54年10月)



▲改築前の講堂入口  
(昭和50年3月)



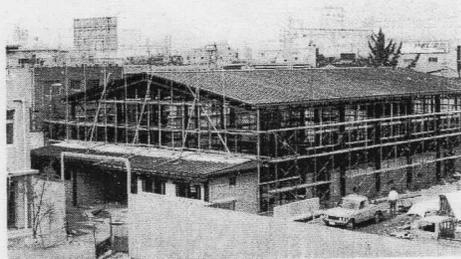
▲基礎工事(昭和54年4月)



▲鉄骨組み立て(昭和54年5月)



▲講堂内部全景(昭和54年10月)



▲屋根完成(昭和54年6月)